

沖縄県DPAT活動マニュアル

令和3年（2021年）3月 改訂版



沖縄県



沖縄県DPAT活動マニュアルの作成について

平成23年(2011年)3月11日の東日本大震災を踏まえて、平成25年(2013年)4月、厚生労働省は各都道府県に災害派遣精神医療チーム(DPAT)を設置するように通達し、翌年(2014年)1月にはDPAT活動マニュアルの整備を行い、同時にDPAT活動要領を示した。

本県においても、国の定めたDPAT活動要領に基づいて、平成26年(2014年)3月に「災害時におけるこころのケア活動マニュアル」を作成した。それに伴い平成27年度には沖縄県DPAT設置要綱を設定し、DPAT登録を開始した。

平成28年(2017年)4月14日に発災した熊本地震においては、国立病院機構琉球病院DPAT先遣隊をはじめ、民間病院、県立病院DPAT等、75日間にわたり12班62名を派遣した。

近年頻発している大規模災害の経験から、厚生労働省は「災害派遣精神医療チーム(DPAT)活動要領」の改訂に取り組み「大規模災害時の保健医療活動に係る体制整備について」通知を出した。それに伴い本県においても、「沖縄県災害医療マニュアル」に照らし合わせながら、平成26年度に作成した「災害時におけるこころのケア活動マニュアル」の「実働編 一県内における災害の場合一」について一部改訂を行った。

平成31年(2019年)3月には、災害時の指揮命令系統及びDPAT調整本部やDPAT統括者の役割等についても明記し、DPAT活動の機動性を高めるため「実働編」を、新たに「沖縄県DPAT活動マニュアル」として作成した。その中には「資料編」として、災害時の情報支援システムとして新たに示された災害診療記録、J-SPEEDの様式、及びDPAT活動マニュアルVer.2.0(DPAT事務局)よりDPAT標準ロジスティクス関連機材リストを追加した。

今回は「沖縄県DPAT活動マニュアル」文中の組織名等の修正及び「県外における災害の場合」を挿入し、資料編では、災害診療記録様式、災害時の情報支援システムJ-SPEED様式等を2018年版に差し替え、国の「DPAT活動マニュアルVer.2.1」(DPAT事務局)より携行医薬品リスト等を追記するなどの改訂を行った。

目 次

沖縄県DPAT活動マニュアルの作成について

I 活動体制理念	
1 DPAT とは	1
2 DPAT 活動 3 原則	1
II 沖縄県DPAT活動の枠組み	
1 DPAT の構造	2
(1) DPAT の役割	2
(2) DPAT の構成	2
< 県内における災害の場合 >	
2 DPAT の統括	3
(1) 沖縄県 DPAT 調整本部	3
(2) DPAT 活動拠点本部	5
(3) 災害医療体制	6
< 県外における災害の場合 >	
3 DPAT の統括	11
(1) 沖縄県 DPAT 調整会議の設置	11
(2) DPAT 派遣調整会議の役割	11
(3) DPAT 派遣時の体制	12
4 情報支援システム	13
(1) 広域災害救急医療情報システム (EMIS)	13
(2) 災害時診療概況報告システム (J-SPEED)	13
III DPAT活動内容	
1 本部活動	14
2 情報収集とアセスメント	14
3 情報発信	14
4 被災者・支援者等に対する精神保健医療活動	15
5 活動記録と処方箋	16
6 活動情報の引継ぎ	17
7 活動の終結	17
8 DPAT 隊員の健康管理	17
IV 出動体制	
1 待機の目安	18
2 初動	18
V 平時の準備	18
VI DPAT登録・派遣協定等	19
VII 費用等	20
VIII マスコミ対応	20
※ 参考	21
厚生労働省委託 DPAT 事務局 DPAT 活動マニュアル Ver2.1 「待機・派遣の目安」	

資料編

1	記録票等様式	
①	災害診療記録 2018（一般診療用）	22
②	災害診療記録 2018 外傷版（初期評価）	26
③	災害時診療概況報告システム J-SPEED 診療日報（一般診療版）	28
④	災害診療記録 2018（精神保健医療版）	30
⑤	精神保健医療版 J-SPEED 日報 2018	32
⑥	精神科病院入院患者搬送用紙（一覧表）	33
⑦	精神科病院入院患者（一覧表）	35
⑧	精神科病院入院患者搬送用紙（集計表）	37
2	DPAT 携行品資料	39
3	DPAT 関係機関一覧	49
4	精神科病院、関係機関の分布図	50
5	精神科病院	51
6	精神科クリニック・精神科外来等	52
7	災害派遣精神医療チーム体制整備事業 運営委員会委員	55
8	参考・引用文献	56

I 活動理念

1 DPAT(Disaster Psychiatric Assistance Team)とは

大規模自然災害等が発生した場合、被災地域の精神保健医療機能が一時的に低下し、さらに災害ストレス等により新たな精神的問題を生じる等、精神保健医療への需要が拡大することが考えられる。

このような災害の場合、精神科医療機関の被災状況、それに伴う入院患者の搬送、避難所での診療の必要性、専門的な知見に基づいて、被災地域の精神保健医療におけるニーズを速やかに把握する必要がある。被災地域のニーズに応える形で、専門性の高い精神医療の提供と精神保健活動の支援を継続する必要がある。

このような活動を行うために都道府県及び政令指定都市によって組織される、専門的な研修・訓練を受けた災害派遣精神医療チームがDPATであり、沖縄県ではこのDPATを沖縄県DPATとして整備している。

2 DPAT活動3原則

DPAT活動の3原則は、以下のSSS（スリーエス）で表される

Self-sufficiency : 自己完結型の活動

移動、食事、通信、宿泊等は自ら確保し、自立した活動を行うこと。また、自らの健康管理（精神面も含む）、安全管理は自ら行うこと。

Share : 積極的な情報共有

被災・派遣自治体の災害対策本部や担当者、被災地域の支援者、及び他の保健医療チームとの情報共有、連携を積極的に行うこと。

Support : 名脇役であれ

支援活動の主体は被災地域の支援者である。地域の支援者を支え、その支援活動が円滑に行えるための活動を行う。ただし、被災地域の支援者は被災者であることに留意すること。

II 沖縄県DPAT活動の枠組み

1 DPATの構造

(1) DPATの役割

沖縄県 DPAT（以下「DPAT」という。）は、沖縄県が継続して派遣する災害派遣精神医療チーム全ての隊を指す。

DPAT を構成する隊の中で、発災当日から遅くとも 48 時間以内に、沖縄県内外の被災地域において活動できる隊を先遣隊とする。

先遣隊は、主に本部機能の立ち上げやニーズアセスメント、急性期の精神科医療ニーズへの対応等の役割を担う。

先遣隊の後に活動する隊は、主に本部機能の継続や、被災地での精神科医療の提供、精神保健活動への専門的支援、被災した医療機関への専門的支援、支援者（地域の医療従事者、救急隊員、自治体職員等）への専門的支援等の役割を担う。

※DPATについては、沖縄県地域防災計画第13節医療救護計画に医療救護活動を実施する組織として記載されている。

(2) DPATの構成

① DPAT は、以下の 3 職種を含めた 3～6 名程度で構成する。

- ・精神科医師
- ・看護師
- ・業務調整員（ロジスティクス）：連絡調整、運転等、医療活動を行うための後方支援全般を行う者

※DPAT 1 隊の人数や職種の構成は、上記を基本としながら現地ニーズに合わせ、児童精神科医、精神保健福祉士、臨床心理技術者、薬剤師、保健師、作業療法士等を含めて適宜構成する。

※先遣隊を構成する医師は精神保健指定医でなければならない。

先遣隊以外の班を構成する医師は精神保健指定医であることが望ましい。ただし、県内発災時にはその限りではない。

② 活動期間

DPAT 1 隊あたりの活動期間は移動日を含め1週間を標準とする。

なお、活動の引継ぎがある場合は、活動期間に重なりをもたせることが望ましい。

＜県内における災害の場合＞

2 DPATの統括

(1) 沖縄県DPAT調整本部

大規模災害時に、沖縄県災害医療本部長（沖縄県保健医療部長）の指示のもと、DPAT活動を統括する機関として、発生直後から全てのDPATが撤収するまでの間設置される。

① 設置基準

沖縄県DPAT調整本部（以下「DPAT調整本部」という。）は、沖縄県災害医療本部（以下「県医療本部」という。）が設置される場合に設置する。

② 設置場所

県医療本部（災害医療調整班）内に置く

③ 組織

1) DPAT調整本部は、県立総合精神保健福祉センター所長、又は、あらかじめ県が任命した精神科医師（以下「DPAT統括者」という。）、県担当課、県立総合精神保健福祉センター職員のほか、本部を支援するDPAT先遣隊等をもって構成する。

2) 必要に応じて、県外のDPAT統括者、担当課職員、精神保健福祉センター職員、DPAT先遣隊及び国のDPAT事務局から派遣される要員等が支援する。

④ DPAT統括者

DPAT統括者は、県全域の精神医療活動に関する助言、調整及び災害医療コーディネーターと連携し調整等を行う。

DPAT統括者は、県立総合精神保健福祉センター、独立行政法人国立病院機構琉球病院、県立精和病院、県立南部医療・こども医療センター等に属し、下記に該当する者のうち県医療本部内のDPAT調整本部で活動可能な精神科医師が記述順に務める。

※ DPAT統括者は以下のいずれも満たす者が望ましい。

- ・ 災害精神医療、精神科救急体制に関わる精神科医師（基幹的医療機関等の精神科医師）、地域精神科医療に関わる精神科医師（沖縄県医師会等が推薦する精神科医師）、又は地域精神保健医療に関わる精神科医師（県立総合精神保健福祉センター等の精神科医師）
- ・ DPAT事務局が行うDPAT研修、DPAT統括者及び事務担当者研修を受講済み又は今後受講する意志がある者
- ・ 夜間、土日の緊急連絡体制の確保ができる者

⑤ DPAT 調整本部の所掌業務

主に以下の業務を行う。

- 1) 県内の精神保健医療に関する被災情報の収集（精神科医療機関の被災状況等）
- 2) 沖縄県災害対策本部（以下「県災害対策本部」という。）、県医療本部、県 DMAT 調整本部等との連携及び調整
- 3) DPAT の派遣要請の要否判断への助言
- 4) 他の都道府県、厚生労働省（DPAT 事務局）等への DPAT 派遣要請の要否判断への助言
- 5) 県内における DPAT 活動方針の策定
- 6) DPAT 活動拠点本部の設置、指揮及び調整
- 7) 活動拠点本部が設置されない場合は、県内で活動する全ての DPAT の指揮、調整及び後方支援
- 8) 精神科医療機関への後方支援
- 9) 地域医療搬送における受入精神科医療機関及び搬送手段の確保の調整
- 10) 消防機関、自衛隊等の関連機関との連携及び調整
- 11) 沖縄県精神科病院協会、地域災害医療本部（以下「地域医療本部」という。）、災害拠点病院、災害拠点精神科病院と連携し、災害医療調整班におけるコーディネイト機能の支援
- 12) 厚生労働省及び DPAT 事務局との情報共有
- 13) DPAT の撤収及び追加派遣の必要性の要否判断への助言
- 14) その他必要な業務

⑥ 初動

- 1) 県医療本部長は、DPAT 統括者及び担当課職員、県立総合精神保健福祉センター職員、DPAT 先遣隊に県医療本部への出務を要請する。
- 2) 県医療本部に出務した DPAT 統括者は、傷病者の発生状況及び精神科病院の被害状況等に関する情報を分析し、国の DPAT 活動マニュアルに定める DPAT の派遣要請の目安（P21 ※参考）に基づき、県内及び他都道府県等への DPAT 派遣要請の要否判断の助言を行う。

⑦ 派遣要請

- 1) DPAT 調整本部は、県医療本部長の決定により県内の DPAT 先遣隊及び DPAT 登録医療機関等に対して、DPAT の派遣を要請する。
- 2) 国の DPAT 活動マニュアルに準じて、県担当課は DPAT 調整本部と協議の上、直接又は厚生労働省を介して、他の都道府県に対して DPAT の派遣を要請する。
- 3) DPAT 調整本部は、派遣要請の際に DPAT の参集拠点、想定される業務等についての情報を提示する。

⑧ DPAT の指揮及び活動支援

- 1) DPAT 調整本部は、参集した DPAT 隊に対し必要に応じて地域医療本部内、又はその他適した場所に DPAT 活動拠点本部の設置を指示し、DPAT 活動拠点本部の本部長を任命する。設置後は任命された本部長が活動拠点本部の指揮、調整を行う。
- 2) DPAT 活動拠点本部が設置されない場合は、県内で活動する全ての DPAT の指揮、調整及びロジスティクスを行う。
- 3) 県災害対策本部、県医療本部、県 DMAT 調整本部、災害医療コーディネーター等との連携及び調整を行う。
- 4) 県内の精神保健医療に関する被災情報の収集(精神科医療機関の被災状況等)、厚生労働省及び DPAT 事務局との情報共有を行う。

(2) DPAT活動拠点本部(保健所圏域、市町村等での統括)

① 設置基準

DPAT 調整本部が必要と判断した場合に DPAT 活動拠点本部を設置する。

DPAT 活動拠点本部は、DPAT 調整本部の指揮下に置かれる。被災地の保健所圏域、市町村等での DPAT を統括する。

② 設置場所

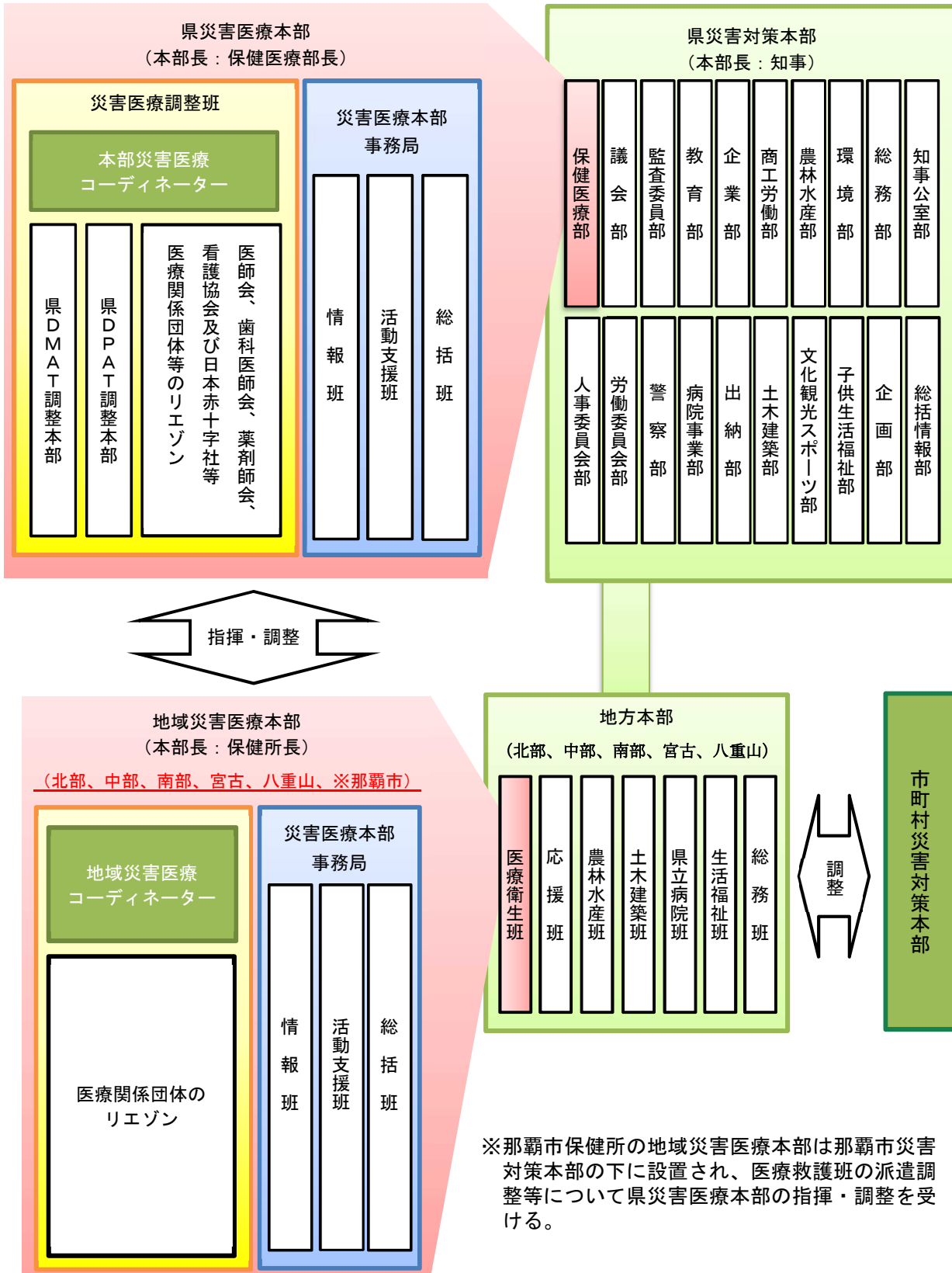
原則として地域医療本部(災害医療調整班内)に設置する。災害の規模や状況、経過に応じて DPAT 調整本部が設置場所を決める。

③ 所掌事務

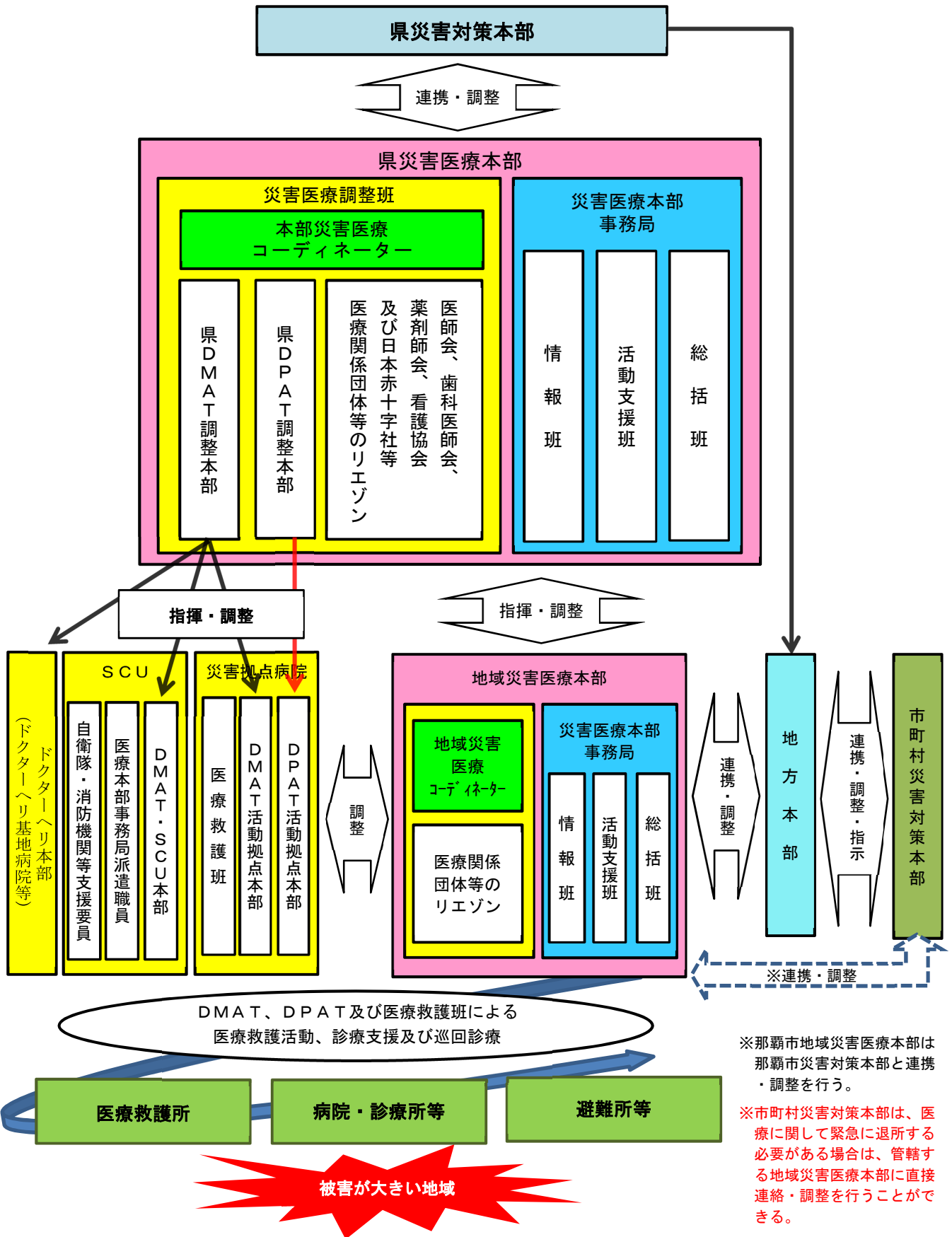
- 1) 管内地域の精神保健医療に関する情報収集
- 2) 参集した DPAT の指揮及び調整
- 3) DPAT 調整本部・DMAT 活動拠点本部・保健所・地域災害医療コーディネーター、沖縄県精神科病院協会等との連携及び調整

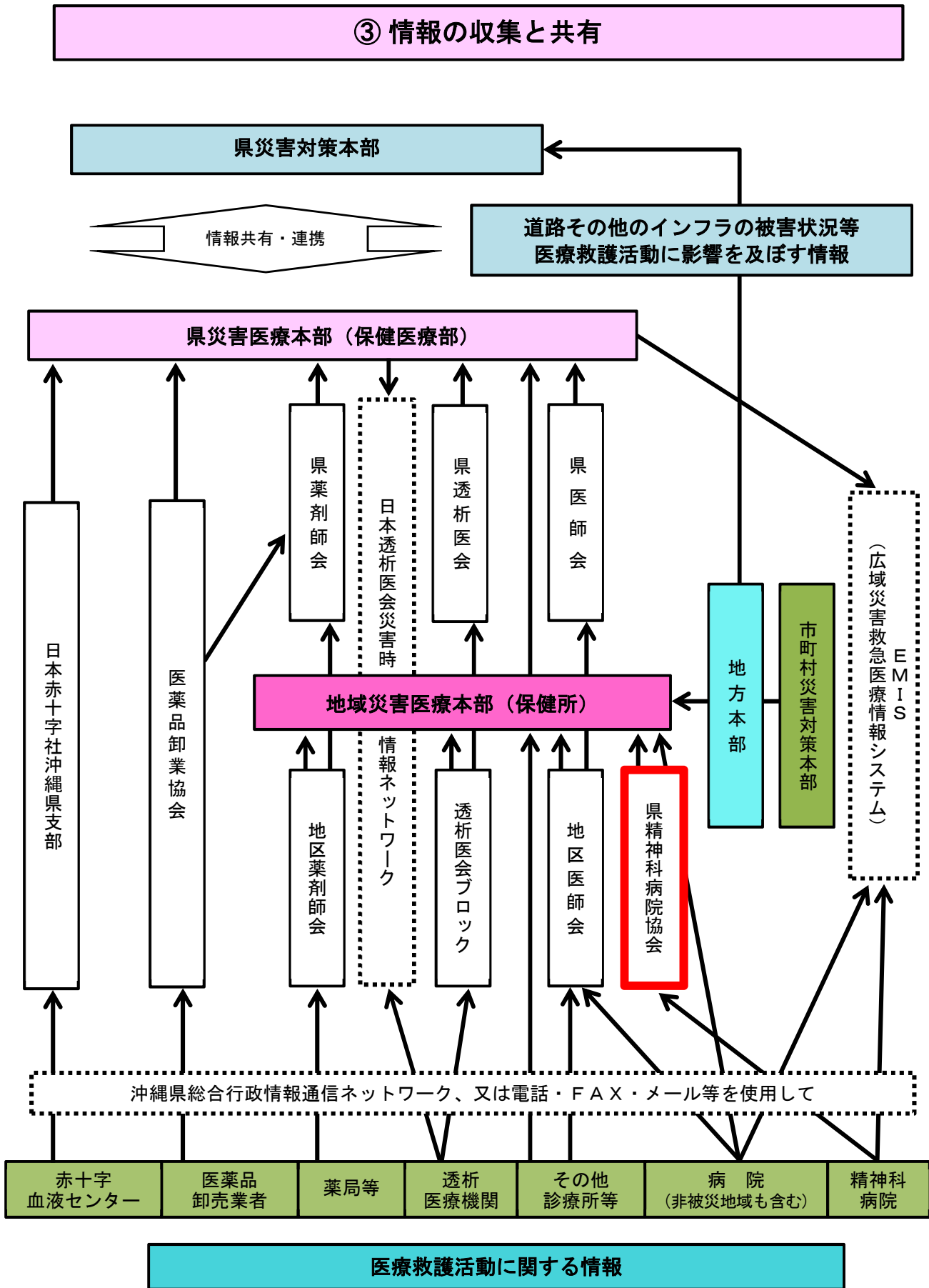
(3) 災害医療体制

① 沖縄県の災害医療体制 (全体)

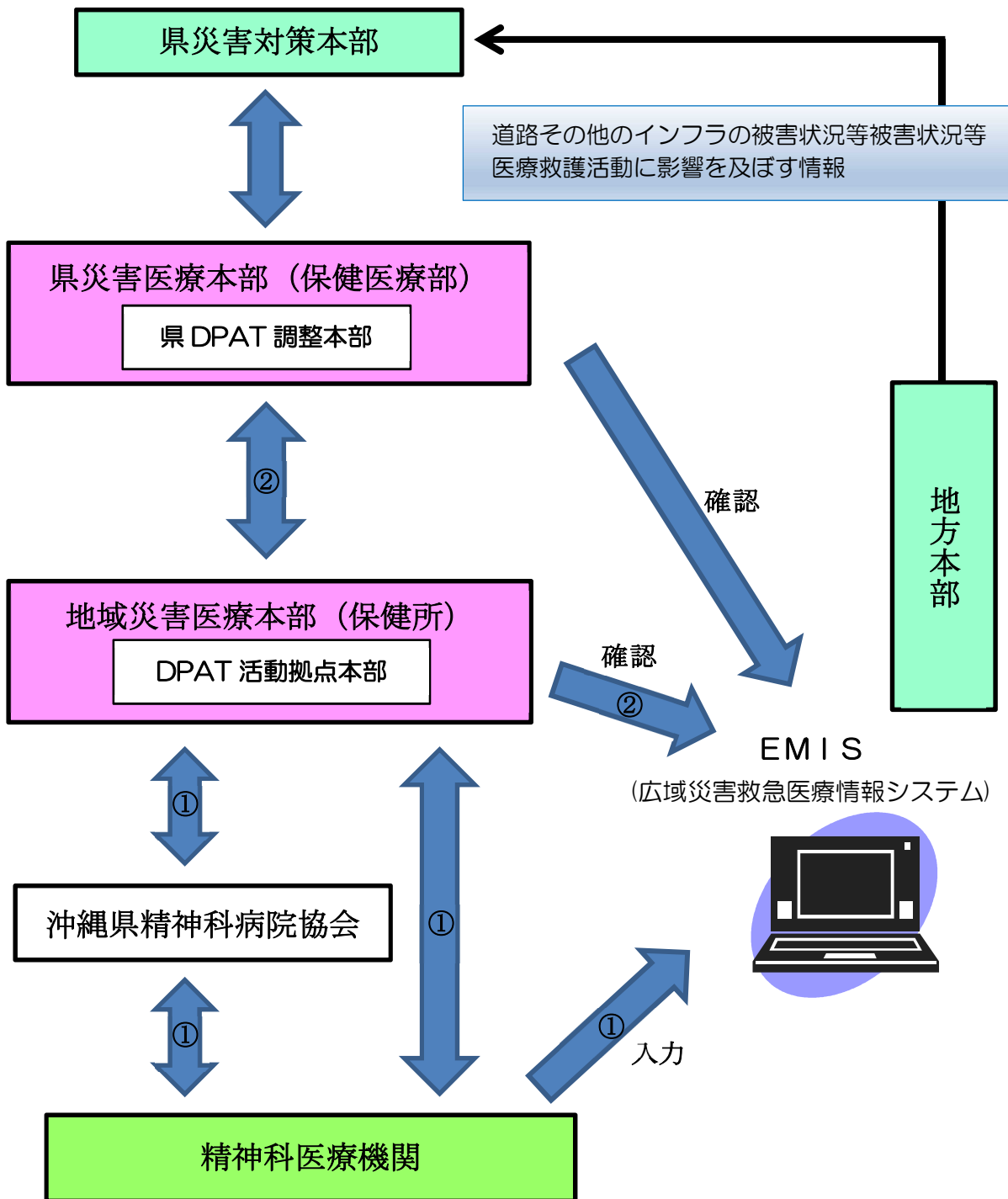


② 災害時における県災害医療本部と地域災害医療本部等との関係図



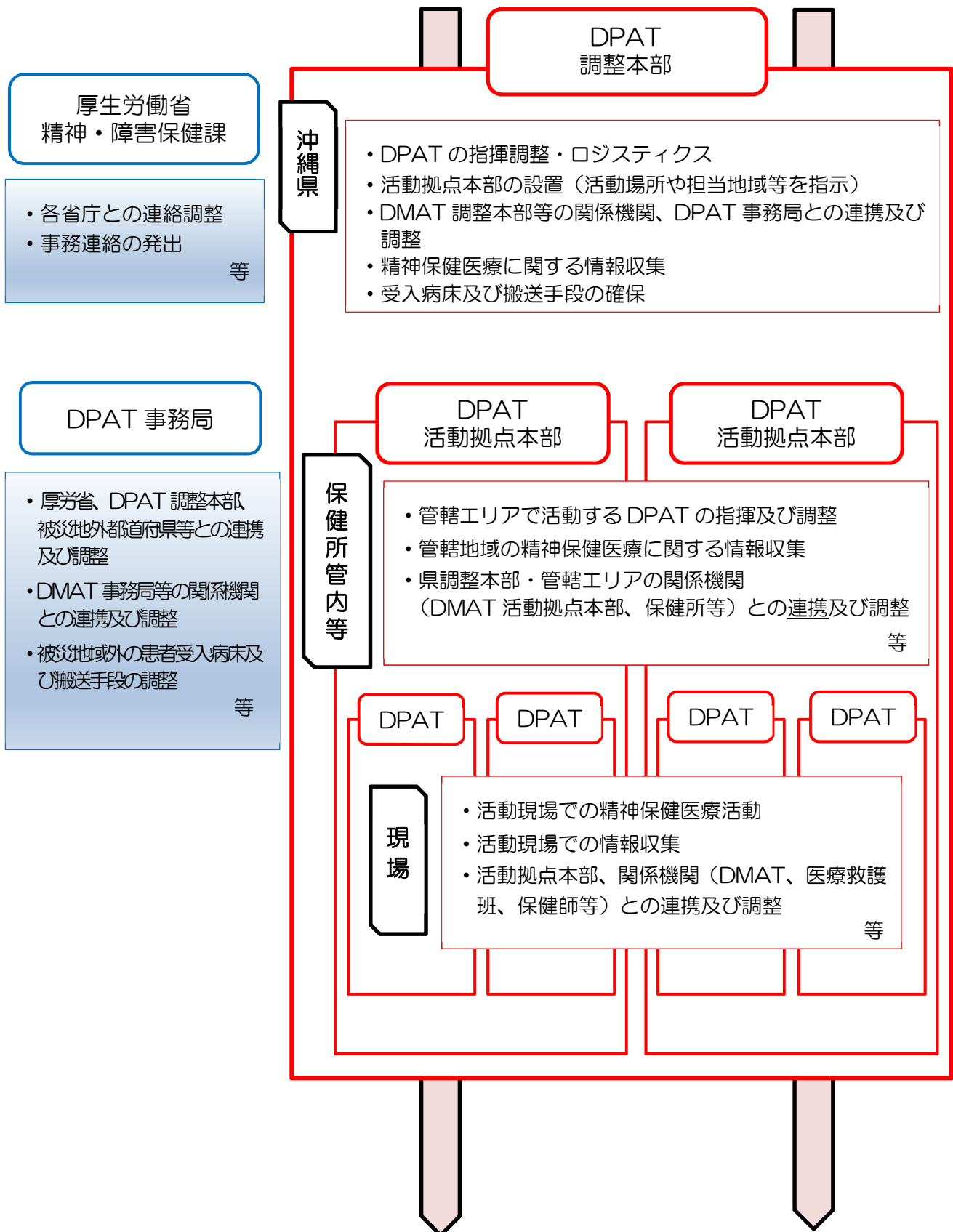


④ DPATの情報の収集と共有



- ① 精神科医療機関はEMISに発信するとともに、管轄の地域災害医療本部に被災状況等を報告する。
- ② 地域災害医療本部はEMIS等を通じて管内の精神科医療機関の被災状況等の情報を収集し、県災害医療本部に報告する。

⑤ 災害時におけるDPATの指揮命令系統



＜県外における災害の場合＞

3 DPATの統括

(1) 沖縄県DPAT調整会議の設置

県外で大規模災害等が発生し、被災都道府県からの DPAT 派遣要請または厚生労働省から派遣斡旋があった場合は、沖縄県 DPAT 調整会議（以下「DPAT 調整会議」という。）を設置し、DPAT の派遣及び終結について協議する。ただし、DPAT 調整本部が設置される場合はこの限りではない。

① 組織

DPAT 調整会議は沖縄県知事の指揮下に置く。DPAT 調整会議の議長は会長（県担当課長の職にある者）が務める。

② 構成機関

DPAT 調整会議の構成機関は次のとおりとし、機関の代表者が出席する。

県担当課、県立総合精神保健福祉センター、県立精和病院、県立南部医療センター・こども医療センター、DPAT 先遣隊を有する医療機関、沖縄県精神科病院協会、その他関係機関

③ 庶務

調整会議の庶務は県担当課において処理する。

(2) DPAT調整会議の役割

沖縄県が被災地に派遣する DPAT の調整・統括を行う。（会長は DPAT の指揮、調整及び後方支援については DPAT 統括者に委任することができる。）

① 被災地域の情報収集・提供

- ・被災状況の把握（ライフライン、交通機関、死者・傷病者数等）
- ・精神科医療機関の被災状況（施設の被害、診療機能、患者状況等）

② 県関係部署及び厚生労働省等関係機関との連絡調整

③ DPAT 派遣要請の要否判断、終結への助言（追加派遣の場合も含む）

- ・被災都道府県の要請を受け、先遣隊を含めた DPAT の派遣要否を協議する。
- ・活動状況を把握し、DPAT 派遣の終結を検討する。

④ DPAT の活動方針及び派遣計画の策定

- ・被災状況を踏まえた活動内容、派遣計画、撤収の決定を含む

⑤ DPAT への派遣要請（庶務）

- ・保健医療部長決裁を以て、県知事より、あらかじめ登録された先遣隊を組織する医療機関及び協力医療機関に派遣を要請する。

⑥ DPAT 活動に必要な資機材等の調達

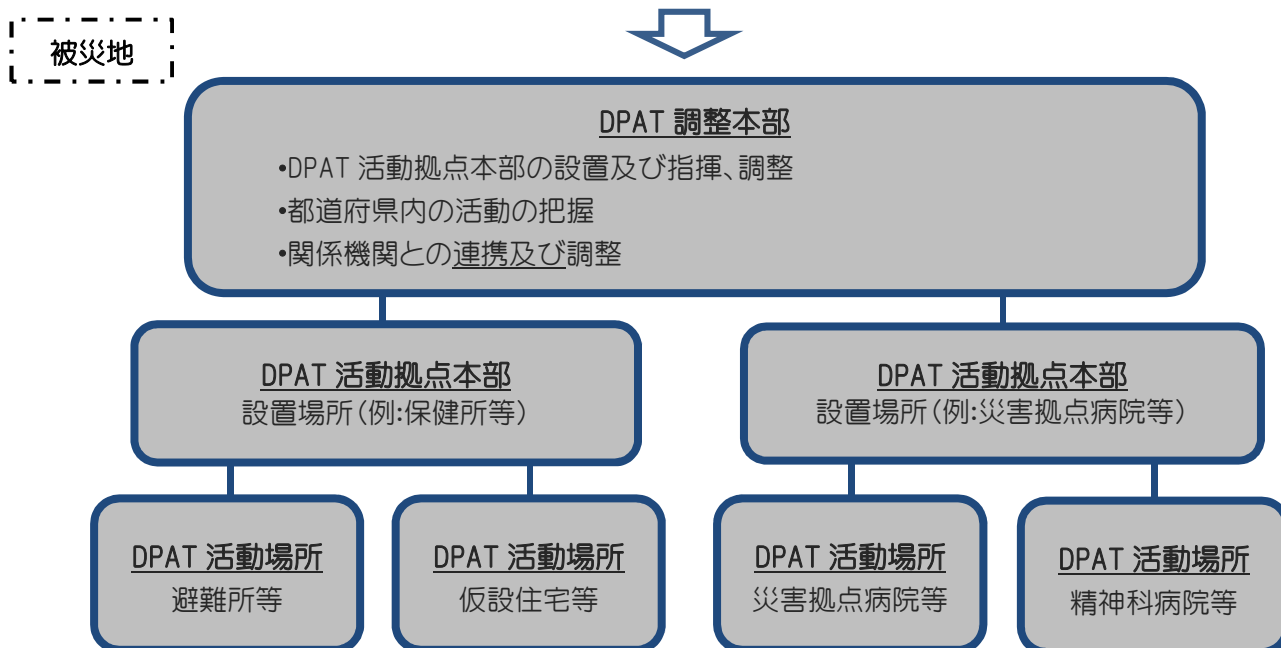
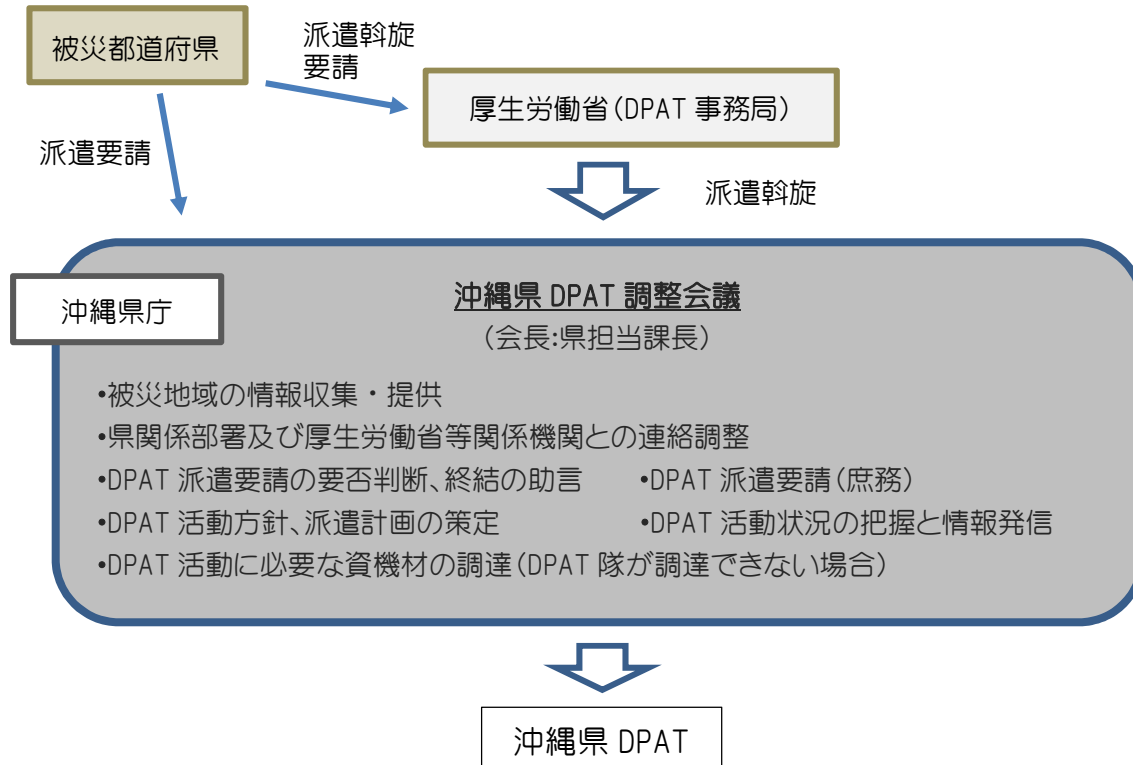
- ・DPAT を組織する医療機関が調達できない資機材がある場合は対応する。

⑦ DPAT 活動状況の把握と発信（後続隊への情報共有）

(3) DPAT派遣時の体制

県外で発災した災害に対し、沖縄県 DPAT を派遣する場合には、DPAT 派遣調整会議を設置する。

〔体制図・活動概要〕



参考資料：沖縄県災害派遣精神医療チーム設置要綱
災害時におけるこころのケア活動マニュアル
大阪 DPAT ガイドライン

4 情報支援システム

DPAT の活動に関しては、以下の情報支援システムを使用する。

(1) 広域災害・救急医療情報システム(Emergency Medical Information System:EMIS)

EMISとは、災害時に被災した都道府県を越えて医療機関の稼働状況など災害医療に関わる情報を共有し、被災地域での迅速且つ適切な医療・救護に関わる各種情報を集約・提供することを目的としたシステムである。

DPAT の活動に関する、精神科医療機関の情報、避難所の情報、DPAT の活動状況等は、DMAT 等の他の保健医療チームと情報が共有できるよう、EMISを用いて行う。

(2) 災害時診療概況報告システム

(Japan-Surveillance in Post Extreme Emergencies and Disasters :J-SPEED)

J-SPEED は DPAT を含む医療救護班等の活動場所等の疾患統計であり、現在の保健医療ニーズの把握や迅速且つ適切な資源配分等を行うための情報共有ツールである。

J-SPEED はスマートフォンのアプリケーション（以下、J-SPEED アプリ）及び J-SPEED Web 版を用いた以下の機能を有する。

- ① J-SPEED アプリの機能
 - ・ユーザー情報登録機能
 - ・J-SPEED 活動日報作成、報告機能
 - ・クロノロジー作成機能
- ② J-SPEED Web 版の機能
 - ・集計機能

※詳細な操作方法は DPAT 事務局のホームページを参照

Ⅲ DPAT活動内容

DPAT は、DPAT 調整本部又は DPAT 活動拠点本部に参集し、その指揮下で被災地域内の災害拠点病院、精神科医療機関、保健所、市町村役場、避難所等で活動を行う。

DPAT 活動内容は、概ね1週間以内の急性期フェーズと亜急性期から中長期のフェーズで大きく変化することを念頭に置いておく。

急性期フェーズの主なDPAT活動は、被災精神科病院からの患者搬送の調整及び補助、被災者の精神疾患の急性増悪・再燃・発症への対処となり、被災地域のニーズに即時的に応じる場合は、24時間体制で活動を行うことも視野に入れる。

亜急性期以降のフェーズの主な DPAT 活動は市町村保健師等と連携した避難所での被災者対応・各関係機関へのつなぎ、支援者支援であり、被災地の医療機関や保健福祉体制の復興を見ながら、丁寧に地元へのつなぎ・移行を行う必要がある。

1 本部活動

- ① DPAT 調整本部、DPAT 活動拠点本部において、DPAT の指揮調整、情報収集、関係機関等との連携及び調整を行う。
- ② 各本部の活動内容については「Ⅱ. 沖縄県DPAT活動の枠組み 2 DPATの統括」を参照すること。

2 情報収集とアセスメント

- ・ E M I S や J-SPEED、関係機関からの情報等を基に、被災地域の精神科医療機関、避難所、医療救護所等の精神保健医療ニーズを把握する。
- ・ 被災状況の把握できない精神科医療機関、避難所、医療救護所等があった場合は、安全を確認した上で、直接出向き状況を把握する。
- ・ 収集した情報を基に、活動した場所における精神保健医療に関するニーズとリソースのアセスメントを行う。特に発災初期のアセスメントは、今後の活動方針に大きく影響することに留意する。

3 情報発信

- ・ DPAT 活動の内容（収集した情報やアセスメントの内容も含む。）は、DPAT 活動拠点本部へ報告する。活動拠点本部が設置されていない場合は、DPAT 調整本部へ報告する。また、必要に応じて被災地域の担当者や支援者、DMAT 等の医療救護チーム、被災地域の精神科医療機関へも E M I S や J-SPEED 等を用いて発信し、今後の DPAT 活動についてともに協議・検討する。
- ・ 活動に関する後方支援（資機材の調達、関係機関との連絡調整等）が必要な場合は、状況に応じて、DPAT 調整本部、DPAT 活動拠点本部に依頼する。

4 被災者・支援者等に対する精神保健医療活動

(1) 被災地での精神科医療の提供

- ・ 症状の悪化や急性反応に対応する。
- ・ 薬が入手困難な患者への投薬を行う。
- ・ 受診先が無くなった患者に対し、受診可能な現地医療機関の紹介を行う。
- ・ 移動困難な在宅患者を訪問し、対応する。
- ・ 保健師や支援者に対し、避難所等で継続的に支援が必要な被災者への対応方法をアドバイスする。
- ・ 被災地域の精神科医療機関の機能が回復している場合は、医療機関へつなぐことが望ましい。

(2) 被災地での精神保健活動の支援

- ・ 対応の原則はPFA（サイコロジカル・ファーストエイド）である。
 - ・ 災害のストレスによって心身の不調をきたした住民に対応する。遺族、行方不明者の家族、高齢者、妊婦、幼い子どもを抱えた家族、子ども、外国人等、サポートの必要性が高いと考えられる住民に配慮して、活動を行う。
 - ・ 急性期は災害のストレスにより、心身の不調が出現するが、被災者同士の見守り・声掛け・支え合いでほとんどの被災者は時間経過とともに回復することを心理教育として伝える。
 - ・ 急性期から亜急性期は、災害のストレスにより、心身の不調が出現するが投薬や介入が必要となる被災者はいるが、ほとんどの被災者は時間経過とともに回復することを心理教育として伝えることも重要な役割である。
 - ・ 中長期には、ストレス反応等（うつ、PTSD、アルコール関連、子どもの反応等）に対する心理教育を行うとともに、支援者と協働し今後発生すると思われる精神疾患、精神的不調を防ぐよう対応を行う。
- ※ 一般住民への対応を行う場合、被災者が精神医療に対して抵抗を示す場合もあるため、血圧計や簡単な医療対応ができるキットを持参し、身体的な状況などを尋ねながら、精神医療というより医療全般の相談として対応する配慮を必要に応じて行う。

(3) 被災した医療機関への専門的支援

- ・ 入院患者の搬送を調整する。
- ・ 入院患者の搬送を補助する。
必要に応じて精神科病院入院患者搬送用紙（資料編 P33～39）を使用する。
（DPAT 事務局ホームページよりダウンロードが可能）
- ・ 外来・入院診療は精神科医療機関の長と協議、相談の上補助する。
- ・ 物資供給の調整を補助する。

(4) 支援者の支援

- ・ 災害時には総じて支援者は目の前の業務に追われて、自分の健康を見失いがちとなり、住民対応でストレスを受けやすい立場が続く。助言を与える場合には、支援者の活動を肯定的に捉え、決して批判や指導をしないこと、支援者に負担をかけないことを心掛ける。
- ・ 組織の代表者に対して組織全体で休養をとることをルール化する必要があることを助言する。

<支援者へ助言する際のポイント>

- ・ 役割分担と業務ローテーションを明確化
(業務内容や責任範囲、活動期間、交替時期をできるだけ早期に明示する。)
- ・ 支援者のストレスについての心理教育
(災害時に支援者にも不安や抑うつ反応が生じることはありうることなでの、適切に対処することが有効である。)
- ・ 支援者の心身のチェックと相談体制
(心身の変調についてのチェックリストを支援者本人に手渡すなどし、自己管理を促すとともに、健康相談を受けられる体制を整えることも必要である。)
- ・ 住民の心理的な反応についての心理教育
(支援活動において、住民からの心理的な反応(怒りや不安などの感情)が支援者に向けられることをあらかじめ理解しておくことも重要。)

(5) 精神保健医療に関する普及啓発

- ・ 被災地域のニーズに応じて、行政、教育、保健福祉等の関係者や一般住民へ向けて、メンタルヘルスに関する普及啓発活動を行う。ただし、DPAT活動に際して講演料は受け取らない。また、講演の依頼があった場合には、DPAT調整本部に一報を入れる。
- ・ 講演資料として使用したパワーポイント等のデータは、DPAT調整本部に集約し、全体で共有できるようにする。

5 活動記録と処方箋

DPAT活動内容(収集した情報やアセスメントの内容)は、DPAT調整本部又はDPAT活動拠点本部へ報告する。また、必要に応じて被災地域の市町村保健師、保健所、精神科医療機関へもフィードバックし、今後の支援について協議・検討を行う。

(1) 災害診療記録

DPATが行った診察、処方内容等は「災害診療記録」(紙)に記入し、継続的な診療提供を行う。災害診療記録は一般診療版(A3)に精神保健医療録版(A4)を挟み込み使用し、適切に保管する。(保管場所はDPAT調整本部又は活動場所の医療本部等の決定に従う)

※ 災害診療記録の記載方法等についてはDPAT事務局のホームページを参照

※ 災害診療記録は持参して被災地域へ入ること。

※ 記録は個人情報が含まれるため、管理には細心の注意を払うこと。

(2) J-SPEEDアプリに記録を保存する

- ・ 県、派遣都道府県等や厚生労働省が活動を把握し、効率的に DPAT の運営を行っていくために、J-SPEED アプリに災害診療記録の J-SPEED 項目と、精神保健医療版 J-SPEED 項目を入力する。
- ・ 活動地域において通信環境が整っていない場合は、J-SPEED アプリに入力しておき、通信環境を確保した上で報告する。

(3) 処方箋

災害時の診療は医師法（昭和23年法律第201号）第22条5号（治療上必要な応急の措置として薬剤を投与する場合）に該当するため、処方箋を発行する法的な義務はない。しかし、同法第24条（診療時の記録について）、及び投薬に関する責任を明確にするため、個票に診察医師名、患者氏名、年齢、薬名、用法、用量を記入する。患者へは処方内容を説明し用紙（診察医氏名、薬名、効用、用法、用量等を記載）を渡すなどして、十分な情報提供に務める。

6 活動情報の引継ぎ

- ・ 各 DPAT によってあまりにも異なる対応は被災地域の支援者や住民を混乱させるため、引継ぎは極めて重要である。
- ・ 後続隊が支援活動を開始する場合は、被災地域の支援者を煩わせることがないように、各 DPAT の間で十分な情報の引き継ぎを行う。さらに医療機関ではその医療機関スタッフ、避難所ではそこを管轄する担当や保健師に対し、十分な情報の引継ぎを行う。引継ぎ場所は担当エリアの活動の拠点となっている場所が望ましい。
- ・ 引継ぎでは、活動記録の受け渡しを行い、地域での実際の活動状況、連携機関（医療機関や避難所等の窓口となる人の氏名、連絡先及び活動の具体的な流れ等）、継続事例への対応についての情報を伝える。

7 活動の終結

- ・ DPAT 活動の終結は、沖縄県が DPAT 調整本部や精神保健医療関係者の助言を踏まえて決定する。
- ・ DPAT の活動期間は、被災地域の精神保健医療体制が復興するまで長期間に渡ることがある。各 DPAT は被災地域のニーズアセスメントを十分に行い、被災地の支援者（保健所、市町村保健師など）や DPAT 調整本部等と協議を行いながら、復興状況に応じて終結の時期を検討する。
- ・ 活動終結決定後は、被災地域の支援者に対して支援活動と事例の引継ぎを段階的に行い、現地のニーズに合わせて終結後のフォローアップや相談体制を検討する。

8 DPAT隊員の健康管理

派遣元機関は、活動中・活動後の休養の確保等、DPAT 隊員の健康障害の防止に努め、問題が生じた場合には必要な対応を早急にとる。合わせて原因の調査を行い、再発防止に努める。

なお、DPAT 隊員は、自らの健康管理に努めるとともに、被災地において自らが感染源とならないよう「インフルエンザ」「麻疹・風疹」等のワクチン接種を事前に行っておくことが望ましい。又、新興感染症等が流行している場合は十分な感染症対策をとって活動を行う。（国立感染症研究所感染症疫学センター「被災地・避難所でボランティアを計画されている皆様の感染症予防について」平成28年4月22日）

IV 出動体制

1 待機の目安

沖縄県 DPAT に登録した機関は、下記の県災害対策本部の設置基準（県災害対策本部が設置される場合、県医療本部は自動設置）に準じて要請を待たずに、DPAT 派遣のための待機を行う。

※県災害対策本部の設置基準

- (1) 震度5強以上の地震が観測されたとき及び大津波警報が発表されたとき
- (2) 災害が発生し、又は災害が発生する恐れがある場合において知事が必要と認めるとき

※県外発災時の場合の待機の目安はP21を参照

2 初動

県医療本部・DPAT 調整本部等から派遣要請があった場合には、速やかに、派遣先、集合場所、集合時間、派遣班、移動手段及び携行品等を確認する等出動準備を行う。

E M I S に救護班登録を行い、DPAT 調整本部の指示に従って活動を開始する。

V 平時の準備

DPAT 活動は自己完結型の活動が原則であることを念頭に平時の準備を行うことから移動手段、宿の確保等については各 DPAT で行う。

なお、資機材は沖縄県及び沖縄県 DPAT を派遣する医療機関・各種関係機関が協力し、確保する。資機材は、被災地の状況やフェーズを見ながら準備する。可能なものは備蓄し定期的な点検を欠かさず行う。備蓄が難しいものについては、確保する手段を具体的に計画しておく。

以下は、主な資機材の例である。

- ・ 車（急性期は出発前に緊急車両登録を必ず行う。）
- ・ 個人装備・DPAT ベスト・名刺
- ・ 通信機器（必要に応じ無線機、衛星電話、ノート PC、Wi-fi ルーター、モバイルプリンター等）
- ・ 生活用品（必要に応じ、寝袋、懐中電灯、毛布、ガソリン、ガソリン缶等）
- ・ 事務用品（ペン、メモ用紙、付箋紙、ホッチキス、カッター、ライティングシート等）
- ・ 食料（必要に応じ、ミネラルウォーター・お茶等の飲料水、缶詰・レトルト食品等の食料品等）
- ・ 医薬品（向精神薬^{※1}、抗てんかん薬、風邪等の一般的内科疾患の治療薬、簡単な外傷や打撲の治療薬、緊急対応用の点滴セットや注射薬、AED 等）
- ・ 災害診療記録、精神科入院患者搬送用紙等（資料編 P20～30）（DPAT 事務局のホームページ参照）
- ・ 処方箋、診療情報提供書^{※2}

※1 向精神薬の保管について

「DPATとしての医療行為については往診の範囲と見なし、向精神薬を携行・施用することは差し支えない。」との見解を厚生労働省医薬食品局監視指導・麻薬対策課麻薬係に確認済み（平成25年11月）。ただし、麻薬及び向精神薬取締法第50条の21施行規則第40条（鍵をつけた設備内で保管すること）に従い、活動地域での向精神薬の保管については、鍵付きのもので行う等、細心の注意を払う。

※2 診療情報提供書は各病院の書式で準備する。

使用する場合、病院名、医師名が記載されるので、保険診療で算定されないように「〇〇災害 DPAT 活動で対応した方です。」など記載する。

VI DPAT登録・派遣協定等

DPAT 派遣を行う意思があり、DPAT の活動に必要な隊員の構成が確保できる沖縄県内の精神科医療機関及び精神保健関連団体の長は、派遣協定を締結する前提で、職員に DPAT 研修を受講させ（1年以内の研修受講予定も含む）、登録申請を行う。

(1) 既に派遣協定締結済みの場合

- ① 毎年4月1日現在の当該機関における DPAT 研修受講済み（又は受講予定）者での編成の可否を決定した際は、沖縄県 DPAT 登録申請書（様式1）を県担当課へ提出し、登録申請を行う。
- ② 県担当課は、申請に基づいて登録医療機関及び関連団体の登録を行う。又、県立総合精神保健福祉センターが登録申請機関等に対し管下職員の受講依頼を行う。
- ③ 協定締結日から有効期限の1か月前までに意思表示がない場合は、当該協定は自動更新する。

(2) 新たに登録申請と派遣協定締結を行う場合

- ① 県内の精神科医療機関及び精神保健関連団体の長は、必要な職員に県 DPAT 研修を受講させる。
- ② 県 DPAT 研修を修了した職員を主たる構成員とした上で、医療機関等の長は沖縄県 DPAT 登録申請書（様式1）を県担当課へ提出し、登録申請を行う。
- ③ 県担当課は、申出により DPAT として適切と判断した場合は、報告に基づいて登録医療機関及び関連団体の登録を行う。併せて、同登録機関と協定を締結する。

VII 費用等

- DPATの活動に要した費用は、原則として県が支弁する。ただし、DPATの活動が災害救助法（昭和22年法律第118号）第4条の規定による救助であると認められた場合は、被災都道府県のDPAT派遣要請を受けた都道府県は、同法第20条第1項に基づき、被災都道府県に対してその費用を求償することができる。
- DPATの活動に要した費用を求償された被災都道府県は、求償した都道府県に対して、同法第18条により費用を弁償する。ただし、同法第20条第2項の規定に基づき、国に支弁を要請することができる。
- DPATの構成員が、DPAT活動のため負傷し、疾病にかかり、又は死亡した場合においては、保険会社との契約に基づき支弁する。
- DPATの活動に要した費用を県に求償する場合は領収書の提出が必要なため、要した費用については領収書の収受を行う。
- DPATの活動に要した費用は派遣元の医療機関が立て替え後に、活動報告書とともに県に求償する。県は当該報告書を基に負担金を決定し当該医療機関に負担金を支弁する。

VIII マスコミ対応

- マスコミによる活動現場でのDPAT活動の取材は、プライバシーの観点から断わる。
- 活動現場以外でのDPAT隊員への個別取材は、引き受けても構わない。その場合も、各DPATが活動している具体的な場所等は教示しない。

※参考

資料 厚生労働省委託DPAT事務局 DPAT活動マニュアルVer2.1 P15

4. 3 待機・派遣の目安

4. 3. 1 待機の目安

都道府県等、厚生労働省は、自然災害又は人為災害が発生し、被災地域外からの精神保健医療の支援が必要な可能性がある場合は、DPAT 派遣のための待機を要請する。

次の場合には、全ての DPAT 構成機関は、被災の状況にかかわらず、都道府県等、厚生労働省からの要請を待たずに、DPAT 派遣のための待機を行う。

- 東京都 23 区で震度 5 強以上の地震が発生した場合
- その他の地域で震度 6 弱以上の地震が発生した場合
- 津波警報（大津波）が発表された場合
- 東海地震注意情報が発表された場合

4. 3. 2 派遣要請の目安

被災地域の都道府県は、上記「待機の目安」に加え、精神保健医療の需要が拡大することが想定される以下の状況を参考に、管下の DPAT 統括者等の意見を聴いて、必要に応じて速やかに DPAT 派遣の検討を行う。

- 管下の精神科医療機関が被災し、診療の継続（一部継続不可も含む。）が困難なことが想定される場合
- 管下の都道府県内において、多数の者が継続的に派遣を必要とする場合（地震・津波・河川氾濫・土砂災害等で一定期間避難生活を余儀なくされる場合）
- 管下の都道府県内において、多数の者が生命又は身体に危害を受ける、又は受けるおそれが生じている場合（火山噴火・雪崩等で多数の死者や負傷者が発生している場合）等

資料編

患者氏名
(カタカナ)

* 氏名不詳なら個人特定に役立つ状況情報を記載

初診医師氏名

一般診療版 J-SPEED2018 当てはまるもの全てに☑

初診日	西暦	年	月	日	再診 日付 /	再々診 日付 /	
年齢							
歳							
☐0歳, ☐1-14歳, ☐15-64歳, ☐65歳-							
Demographics	性別・受診区分	1	☐	男性			
		2	☐	女性(妊娠なし)			
		3	☐	女性(妊娠あり)			
		4	☐	中等症(トリアージ黄色)以上			
		5	☒	再診患者			
Health Events	外傷・環境障害	6	☐	頭頸・脊椎の重症外傷(PAT赤)			
		7	☐	体幹の重症外傷(PAT赤)			
		8	☐	四肢の重症外傷(PAT赤)			
		9	☐	中等症外傷(PAT赤以外・入院必要)			
		10	☐	軽症外傷(外来処置のみで加療可)			
		11	☐	創傷			
		12	☐	骨折			
		13	☐	熱傷			
		14	☐	溺水			
		15	☐	クラッシュ症候群			
	症候・感染症	16	☐	発熱			
		17	☐	急性呼吸器感染症			
		18	☐	消化器感染症、食中毒			
		19	☐	麻疹疑い			
		20	☐	破傷風疑い			
		21	☐	急性血性下痢症			
		22	☐	緊急の感染症対応ニーズ			
		23	☐	人工透析ニーズ			
		24	☐	外傷以外の緊急の外科的医療ニーズ			
		25	☐	感染症以外の緊急の内科的医療ニーズ			
	精神	26	☐	災害ストレス関連諸症状			
		27	☐	緊急のメンタル・ケアニーズ			
	その他	28	☐	深部静脈血栓症/肺・脳・冠動脈塞栓症疑い			
		29	☐	高血圧状態			
		30	☐	気管支喘息発作			
		31	☐	緊急の産科支援ニーズ			
		32	☐	皮膚疾患(外傷・熱傷以外)			
		33	☐	掲載以外の疾病			
	公衆衛生	34	☐	緊急の栄養支援ニーズ			
		35	☐	緊急の介護/看護ケアニーズ			
		36	☐	緊急の飲料水・食料支援ニーズ			
		37	☐	治療中断			
	Procedure & Outcome	実施処置	38	☐	高侵襲処置(全身麻酔・入院必要)		
			39	☐	低侵襲外科処置(縫合・デブリドマン等)		
			40	☐	四肢切断(指切断を除く)		
			41	☐	出産・帝王切開・その他産科処置		
			42	☐	医療フォロー不要(再診不要)		
転帰		43	☐	医療フォロー必要(再診指示)			
		44	☐	紹介(紹介状作成等)			
		45	☐	搬送(搬送調整実施等)			
		46	☐	入院(自施設)			
		47	☐	患者自身による診療継続拒否			
Context	関連性	51	☐	直接的関連あり(災害による外傷等)			
		52	☐	間接的(環境変化による健康障害)			
		53	☐	関連なし(悪性腫瘍等・診察医判断)			
	保護	54	☐	保護を要する小児(孤児等)			
		55	☐	保護を要する成人高齢者			
		56	☐	性暴力			
追加症候群	57	☐	暴力(性暴力以外)				
	58	☐					
	59	☐					
	60	☐					

バイタルサイン

意識障害: ☐無・☐有 呼吸数: / min
 血圧: / mmHg 体温: °C
 脈拍: / min 整・不整

身長・体重

身長: cm 体重: / kg

既往症

☐高血圧 ☐糖尿病 ☐喘息 ☐その他

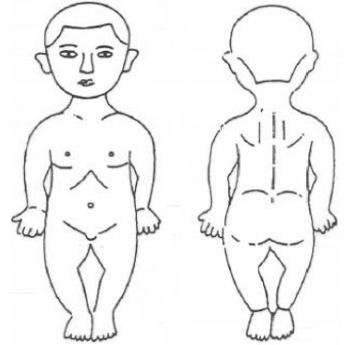
予防接種

☐麻疹 ☐破傷風 ☐今期インフルエンザ ☐肺炎球菌
 ☐風疹 ☐その他()

主訴

現病歴
(日本語で記載)

☐外傷⇒黄色タグ以上は外傷版記録へ(J-SPEEDは記入)
 ☐精神保健医療⇒精神保健医療版記録へ(J-SPEEDは記入)



診断

処置

処方

転帰

対応者署名
(判読できる文字で記載)

☐無・☐有

☐無・☐有

☐帰宅

☐搬送 → 搬送手段
搬送機関
搬送先

☐紹介 → 紹介先

☐死亡 → 場所
時刻
確認者

所属(チーム名等) 医師 看護師

薬剤師 業務調整員 その他 データ入力

<メモ>

*追加症候群は保健医療調整本部等からの指示に応じて集計

メディカル ID = 西暦生年月日 8桁 + 性別 + 氏名カタカナ上位 7桁

メディカル ID

M
F

患者氏名
(カタカナ)

* 氏名不詳なら個人特定に役立つ状況情報を記載

医師氏名

* 本ページを最初に利用した医師氏名

日時	所見	J-SPEED 該 当コート(4 度目 受診以降)	処置・処方	・診療場所 ・所属 ・医師等サイン

メディカル ID = 西暦生年月日 8 桁 + 性別 + 氏名カタカナ上位 7 桁

メディカル ID									M F									
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

患者氏名 (カタカナ)	* 氏名不詳なら個人特定に役立つ状況情報を記載	医師氏名	* 本ページを最初に利用した医師氏名

年号	西暦
明治40年	1907
45年	1912
大正元年	1912
5年	1916
10年	1921
15年	1926
昭和元年	1926
5年	1930
10年	1935
15年	1940
20年	1945
25年	1950
30年	1955
35年	1960
40年	1965
45年	1970
50年	1975
55年	1980
60年	1985
64年	1989
平成元年	1989
5年	1993
10年	1998
15年	2003
20年	2008
25年	2018
31年	2019
新年号元年	2019

日時	所見	J-SPEED 該当コード(4度目受診以降)	処置・処方	・診療場所 ・所属 ・医師等サイン

メディカル ID=西暦生年月日 8桁 + 性別 + 氏名カタカナ上位 7桁

メディカル ID										M/F							
----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	-----	--	--	--	--	--	--	--

項目は、および必要記入項目です。

A 気道の異常

- 口腔内吸引 エアウェイ
- 気管挿管 (挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml)
- 輪状甲状靱帯切開 (気切チューブ 内径 mm カフ ml)

B・Cの異常

- 酸素投与(L/分)
- 胸腔ドレナージ(右 左 両側 サイズ Fr 吸引圧 cmH2O)
- 気管挿管(挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml)
- 人工呼吸(FiO2 TV ml 換気回数 回/分 PEEP cmH2O)

Cの異常

- 圧迫止血 細胞外液輸液 心電図モニター
- 心嚢穿刺・切開ドレナージ 胸部X線撮影 骨盤X線撮影
- 骨盤シーツラッピング TAE 外科的治療 四肢の循環障害

Dの異常

- 酸素投与(L/分)
- 気管挿管(挿管チューブ 内径 mm cm固定 カフ ml)
- 頭部CT検査

その他の処置

- 末梢ルート①(G 右 左 上肢 下肢) ②(G 右 左 上肢 下肢)
- NG チューブ(Fr cm固定) 尿道バルーンカテーテル Fr
- 動脈ライン(右 左 上肢 下肢) 末梢血検査 血液ガス分析
- 創傷処置()
- 投与薬物()

受傷機転

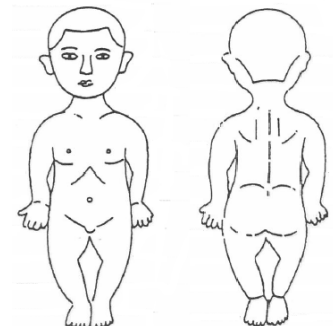
傷病分類 頭頸部(頭部外傷 頸部外傷 頸椎・頸髄損傷)

- 顔面(骨折 眼損傷 耳損傷 鼻出血 口腔損傷)
- 胸部(フレイルチェスト 肋骨骨折(多発) 血胸 気胸)
- 腹部(腹腔内出血 腹膜炎(腹部反跳痛 筋性防御) 腎・尿路損傷(肉眼的血尿))
- 四肢と骨盤(両側大腿骨骨折 開放性骨折 脱臼 切断 骨盤骨折(不安定型))
- 体表(剥皮創 穿通創 挫創 熱傷(Ⅱ度 Ⅲ度 面積 % 気道熱傷有)
- 圧挫症候群 胸・腰椎(髄)損傷 低体温 汚染(化学物質 放射線)
- その他の傷病名(身体所見) ()

必要な治療・処置

- 外科的治療(緊急手術を要す、待機的手術を要す) 輸血 動脈塞栓術(TAE)
- 創外固定 直達牽引 創傷処置 除染(化学物質 放射性物質)
- 破傷風トキソイド 抗破傷風免疫グロブリン
- その他()

診断、特記事項等(自由記載)



メディカルID=西暦生年月日8桁+性別+氏名カタカナ上位7桁 例)1950年09月08日生まれ 男性 トヨトミヒデオ⇒ 19500908Mトヨトミヒデオ

メディカルID																			
---------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

災害時診療概況報告システム J-SPEED2018診療日報(一般診療版)



※該当箇所に記入し、および印を入れる

改訂日：2019/03/01

報告元	所属・職種・氏名	
	報告対象診療日	
	今回報告の主たる診療地点 (救護所・避難所名等)	
	携帯電話番号 (報告者への連絡方法)	
	電子メール	

派遣元 区分1	<input type="checkbox"/> 被災地域
	<input type="checkbox"/> 被災地域外・被災都道府県内
	<input type="checkbox"/> 被災都道府県外
	<input type="checkbox"/> 海外
	<input type="checkbox"/> その他()
派遣元 区分2	<input type="checkbox"/> DMAT
	<input type="checkbox"/> 国立病院機構
	<input type="checkbox"/> 日赤
	<input type="checkbox"/> JMAT
	<input type="checkbox"/> DPAT
明日の 診療活動	<input type="checkbox"/> その他()
	<input type="checkbox"/> 同一地区で継続
	<input type="checkbox"/> 別地区で継続
	<input type="checkbox"/> 終了
	<input type="checkbox"/> 未定
	<input type="checkbox"/> その他()

特記メモ(災害医療コーディネータ等への報告事項):	隊員の健康状態(隊員に健康に関する報告事項):

下表記入についての補足:
 ・記入報告:まず該当する年齢・性別・妊婦区分(縦軸)を決定したのち、該当する症候群(横軸)全てをカウントしていく。
 ・記入方法:診療活動場所ごとに該当症候群/健康事象数を集計し、対策本部等に日報するよう努める。

Demographic	性別・受診区分	0歳		1-14歳		15-64歳		65歳以上		合計			
		男	女	男	女	男	女	妊婦	男		女		
Health Events	1-3	性別(診療件数)											
	4	中等症(トリアージ黄色)以上											
	5	再診患者											
	外傷・環境障害	6	頭頸・脊椎の重症外傷(PAT赤)										
		7	体幹の重症外傷(PAT赤)										
		8	四肢の重症外傷(PAT赤)										
		9	中等症外傷(PAT赤以外・入院必要)										
		10	軽症外傷(外来処置のみで加療可)										
		11	創傷										
		12	骨折										
		13	熱傷										
		14	溺水										
		15	クラッシュ症候群										
		16	発熱										
		症候・感染症	17	急性呼吸器感染症									
			18	消化器感染症、食中毒									
			19	麻疹疑い									
			20	破傷風疑い									
	21		急性血性下痢症										
	22		緊急の感染症対応ニーズ										
	23		人工透析ニーズ										
	高度医療	24	外傷以外の緊急の外科的医療ニーズ										
		25	感染症以外の緊急の内科的医療ニーズ										
		26	災害ストレス関連諸症状										
		27	緊急のメンタル・ケアニーズ										
	その他	28	深部静脈血栓症/肺・脳・冠動脈塞栓症疑い										
		29	高血圧状態										
		30	気管支喘息発作										
		31	緊急の産科支援ニーズ										
		32	皮膚疾患(外傷・熱傷以外)										
		33	掲載以外の疾病										
		公衆衛生	34	緊急の栄養支援ニーズ									
			35	緊急の介護/看護ケアニーズ									
			36	緊急の飲料水・食料支援ニーズ									
			37	治療中断									
	Procedure & Outcome	転帰	38	高侵襲処置(全身麻酔・入院必要)									
			39	低侵襲外科処置(縫合・デブリドマン等)									
40			四肢切断(指切断を除く)										
41			出産・帝王切開・その他産科処置										
42			医療フォロー不要(再診不要)										
43			医療フォロー必要(再診指示)										
44			紹介(紹介状作成等)										
45			搬送(搬送調整実施等)										
46			入院(自施設)										
47			患者自身による診療継続拒否										
48			受診時死亡										
49			加療中の死亡										
50			長期リハビリテーションの必要性										
Context	関連性	51	直接的関連あり(災害による外傷等)										
		52	間接的(環境変化による健康障害)										
		53	関連なし(悪性腫瘍等・診察医判断)										
	保護	54	保護を要する小児(孤児等)										
		55	保護を要する成人高齢者										
		56	性暴力										
		57	暴力(性暴力以外)										
追加症候群	58												
	59												
	60												

<Memo>

データの電子入力完了
 ()
 ()

災害時診療概況報告システム
J-SPEED2018診療日報 説明



報告元	所属・職種・氏名	所属先医療チーム名、報告者の職種、氏名を記載
	報告対象診療日	診療日を西暦で記載
	今回報告の主たる診療場所	診療地点の名称(わかる範囲で郵便番号・住所も記載)
	携帯電話番号(報告者への連絡方法)	報告者の携帯電話番号
	電子メール	報告者の電子メールアドレス

派遣状況	派遣元区分1	派遣元の地理情報をチェック
	派遣元区分2	派遣元の所属団体名をチェック
	明日の診療活動	明日の診療活動予定をチェック

報告	特記メモ	災害医療コーディネータ等への報告事項を記載(救護所・避難所の状況や支援要請など)
	隊員の健康状態	隊員の健康に関する報告事項を記載

Demographic	性別・受診区分	1 男性	男性(生物学的性別に基づく)	
		2 女性(妊娠なし)	女性(妊娠していない)	
		3 女性(妊娠あり)	女性(妊娠している)	
		4 中等症(トリアージ黄色)以上	歩行不能(被災前からの障害を除く)	
		5 再診患者	再診(初診は常にチェックなし)	
Health Events	外傷・環境障害	6 頭頸・脊椎の重症外傷(PAT赤)	重症頭部・脊椎外傷(入院や全身麻酔が必要)	
		7 体幹の重症外傷(PAT赤)	重症体幹部外傷(入院や全身麻酔が必要)	
		8 四肢の重症外傷(PAT赤)	重症四肢外傷(入院や全身麻酔が必要)	
		9 中等症外傷(PAT赤以外・入院必要)	中等症外傷(鎮静や神経ブロックが必要)	
		10 軽症外傷(外来処置のみで加療可)	軽症外傷(局所麻酔以外の麻酔不要)	
		11 創傷	創傷、(臓器)損傷	
		12 骨折	骨折・骨折疑い	
		13 熱傷	皮膚/気道の熱傷	
		14 溺水	溺水と低体温症、溺水のエピソード	
		15 クラッシュ症候群	身体の長時間圧迫と意識混濁/失禁/乏尿	
		症候・感染症	16 発熱	発熱(定義は登録者判断でよい)
			17 急性呼吸器感染症	咳、寒気、咽頭痛、発熱等(すべての症状なくともよい)
			18 消化器感染症、食中毒	下痢・嘔吐
			19 麻疹疑い	発熱と皮疹
			20 破傷風疑い	外傷後の開口障害、頸や下顎の硬直(疼痛で顎が胸につかない)
	21 急性血性下痢症		急性血性下痢症	
	22 緊急の感染症対応ニーズ		感染症専門家へのコンサルトが必要、1~4類感染症疑い	
	高度医療	23 人工透析ニーズ	人工透析が必要な急性・慢性腎不全	
		24 外傷以外の緊急の外科的医療ニーズ	緊急手術が必要な症例(外傷を除く)	
		25 感染症以外の緊急の内科的医療ニーズ	緊急治療(手術を除く)が必要な症例(感染症を除く)	
		精神	26 災害ストレス関連諸症状	不眠、頭痛、めまい、食欲不振、胃痛、便秘等
			27 緊急のメンタル・ケアニーズ	自殺企図、問題行動、不穏
			その他	28 深部静脈血栓症/肺・脳・冠動脈塞栓症疑い
		29 高血圧状態		>160/100(いずれかに該当するもの)
	30 気管支喘息発作	呼吸困難と喘鳴		
	31 緊急の産科支援ニーズ	妊娠合併症(出血・子癇等)等		
	32 皮膚疾患(外傷・熱傷以外)	皮膚疾患(外傷・熱傷を除く、疥癬など)		
	33 掲載以外の疾病	掲載以外の疾病		
	公衆衛生	34 緊急の栄養支援ニーズ	アレルギー食、治療食、宗教食等の緊急支援必要	
		35 緊急の介護/看護ケアニーズ	要介護/看護者、身体・精神・知的障害者	
		36 緊急の飲料水・食料支援ニーズ	生存に必要な飲料水(3ℓ/日)・食料の不足	
		37 治療中断	災害による必要な治療の中断	
	Procedure & Outcome	実施処置内容	38 高侵襲処置(全身麻酔・入院必要)	全身麻酔や入院が必要な手術の実施(四肢切断と分娩を除く)
			39 低侵襲外科処置(縫合・デブリドマン等)	全身麻酔や入院が不要な外科処置の実施
			40 四肢切断(指切断を除く)	四肢切断術(指趾を除く)の実施
			41 出産・帝王切開・その他産科処置	経膈分娩(吸引・鉗子・骨盤位含む)、帝王切開術、産科的処置(出血・流早産対応等)の実施
			42 医療フォロー不要(再診不要)	再受診は不要
43 医療フォロー必要(再診指示)			再受診が必要	
44 紹介(紹介状作成等)			他の医療機関へ紹介	
45 搬送(搬送調整実施等)			搬送(搬送調整実施等)	
46 入院(自施設)			入院	
47 患者自身による診療継続拒否			必要な治療を拒否	
転帰		48 受診時死亡	来院時死亡	
		49 加療中の死亡	来院後に死亡	
		50 長期リハビリテーションの必要性	長期のリハビリが必要	
Context	関連性	51 直接的関連あり(災害による外傷等)	直接的に災害によって起こった外傷	
		52 間接的(環境変化による健康障害)	災害後の環境により起こった傷病	
		53 関連なし(悪性腫瘍等・診察医判断)	災害に関係なく緊急性のない健康問題	
		保護	54 保護を要する小児(孤児等)	緊急で保護の必要のある子ども
			55 保護を要する成人高齢者	緊急で保護の必要のある成人
	56 性暴力		性暴力の被害者	
	57 暴力(性暴力以外)		暴力の被害者(性暴力以外)	
	58			
	59			
	60			
その他	データの電子入力完了	電子入力(アプリ等)が完了した時点でチェック		

災害診療記録2018(精神保健医療版)

改訂日: 2018/10/31

精神保健医療版J-SPEED あてはまるもの全てに☑	相談対応日	西暦・平成		年	月	日					
年齢	_____歳		相談者氏名 (フリガナ) _____								
	☐ 0歳 ☐ 1~14歳 ☐ 15~64歳 ☐ 65歳~										
性別	1	<input type="checkbox"/> 男	生年月日				西暦・大正・昭和・平成		年	月	日
	2	<input type="checkbox"/> 女									
属性	3	<input type="checkbox"/> 支援者	住所								
対応した場所		4									<input type="checkbox"/> 避難所
		5	<input type="checkbox"/> 病院・救護所	避難所・救護所名							
		6	<input type="checkbox"/> 自宅								
		7	<input type="checkbox"/> その他	[携帯]電話番号							
精神的健康状態		8	<input type="checkbox"/> 眠れない								
		9	<input type="checkbox"/> 不安だ								
		10	<input type="checkbox"/> 災害場面が目に見えかぶ	内服薬							
		11	<input type="checkbox"/> ゆうつだ								
		12	<input type="checkbox"/> 体の調子が悪い	生活歴							
		13	<input type="checkbox"/> 死にたくなる								
		14	<input type="checkbox"/> 周りから被害を受けている								
		15	<input type="checkbox"/> 物忘れがある								
		16	<input type="checkbox"/> その他								
		17	<input type="checkbox"/> 話がまとまらない								
		18	<input type="checkbox"/> 怒っている								
		19	<input type="checkbox"/> 興奮している								
		20	<input type="checkbox"/> 話しすぎる	被災状況: <input type="checkbox"/> 家族・友人の死亡・行方不明 <input type="checkbox"/> 自身の負傷							
		21	<input type="checkbox"/> 応答できない	<input type="checkbox"/> 家屋の損壊または浸水							
		22	<input type="checkbox"/> 徘徊している	家 族: <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし							
		23	<input type="checkbox"/> 自傷している	現病歴							
24	<input type="checkbox"/> 自殺を試みる										
25	<input type="checkbox"/> 暴言・暴力をふるう										
26	<input type="checkbox"/> 酒をやめられない										
27	<input type="checkbox"/> その他										
28	<input type="checkbox"/> F0: 認知症, 器質性精神障害										
29	<input type="checkbox"/> F1: 物質性精神障害										
30	<input type="checkbox"/> F2: 統合失調症関連障害										
31	<input type="checkbox"/> F3: 気分障害	現症									
32	<input type="checkbox"/> F4: 神経症, ストレス関連障害										
33	<input type="checkbox"/> F5: 心身症										
34	<input type="checkbox"/> F6: 人格・行動の障害										
35	<input type="checkbox"/> F7: 知的障害<精神遅滞>										
36	<input type="checkbox"/> F8: 心理的発達障害										
37	<input type="checkbox"/> F9: 児童・青年期の障害										
38	<input type="checkbox"/> F99: 診断不明										
39	<input type="checkbox"/> G40: てんかん	対応・引継 (処方内容含む)									
必要な支援										40	<input type="checkbox"/> 精神医療
										41	<input type="checkbox"/> 身体医療
										42	<input type="checkbox"/> 保健・福祉・介護
		43	<input type="checkbox"/> 地域・職場・家庭等での対応	対応・引継 (処方内容含む)							
対応		44	<input type="checkbox"/> 処方								
		45	<input type="checkbox"/> 入院・入所								
		46	<input type="checkbox"/> 地域の保健医療機関へ紹介・調整								
		47	<input type="checkbox"/> 傾聴・助言等	精神科的緊急性 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし							
転帰		48	<input type="checkbox"/> 支援継続								
		49	<input type="checkbox"/> 支援終了								
災害と精神的健康状態の関連 (医師による判断)		50	<input type="checkbox"/> 直接的関連								
		51	<input type="checkbox"/> 間接的関連								
		52	<input type="checkbox"/> 関連なし								

所属チーム名				相談者への対応者名			
				医師	看護師(保健師含む)	業務調整員	

メディカルID																				
							M													
							F													

災害診療記録2018(精神保健医療版)－記載上の注意事項

改訂日: 2018/10/31

精神保健医療版J-SPEED あてはまるもの全てに☑			相談対応日	西暦・平成	年	月	日
年齢	_____歳 ☐ 0歳 ☐ 1~14歳 ☐ 15~64歳 ☐ 65歳~		相談者氏名	(フリガナ) _____			
性別	1 <input type="checkbox"/> 男	2 <input type="checkbox"/> 女	生年月日	西暦・大正・昭和・平成	年	月	日
属性	3 <input type="checkbox"/> 支援者		住所				
対応した場所	4 <input type="checkbox"/> 避難所						
	5 <input type="checkbox"/> 病院・救護所		避難所・救護所名				
精神的健康状態	本人の訴え	6 <input type="checkbox"/> 不安	[携帯]電話番号				
		7 <input type="checkbox"/> 過去の出来事	既往精神疾患	<input type="checkbox"/> あり () <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 不明			
		8 <input type="checkbox"/> 被害者		内服薬			
		9 <input type="checkbox"/> 被害者					
		10 <input type="checkbox"/> 災害場面が目に見え					
		11 <input type="checkbox"/> ゆうつだ					
		12 <input type="checkbox"/> 体の調子が悪い					
		13 <input type="checkbox"/> 死にたくなる					
		14 <input type="checkbox"/> 周りから被害を受けている	生活歴				
		15 <input type="checkbox"/> 物忘れがある					
		16 <input type="checkbox"/> その他					
		17 <input type="checkbox"/> 話がまとまらない					
		18 <input type="checkbox"/> 怒っている					
		19 <input type="checkbox"/> 興奮している					
		20 <input type="checkbox"/> 話しすぎる					
		21 <input type="checkbox"/> 応答できない					
	22 <input type="checkbox"/> 徘徊している						
	23 <input type="checkbox"/> 自傷している						
	24 <input type="checkbox"/> 自殺を試みる	現病歴					
	25 <input type="checkbox"/> 暴言・暴力をふるう						
	26 <input type="checkbox"/> 酒をやめられない						
	27 <input type="checkbox"/> その他						
	28 <input type="checkbox"/> F0:認知症, 器質性精神障害						
	29 <input type="checkbox"/> F1:物質性精神障害						
30 <input type="checkbox"/> F2:統合失調症関連障害							
31 <input type="checkbox"/> F3:気分障害							
32 <input type="checkbox"/> F4:神経症, ストレス関連障害							
33 <input type="checkbox"/> F5:心身症							
34 <input type="checkbox"/> F6:人格・行動の障害	現症						
35 <input type="checkbox"/> F7:知的障害(精神遅滞)							
36 <input type="checkbox"/> F8:心理的発達障害							
37 <input type="checkbox"/> F9:児童・青年期の障害							
38 <input type="checkbox"/> F99:診断不明							
39 <input type="checkbox"/> G40:てんかん							
必要な支援	40 <input type="checkbox"/> 精神医療		対応・引継 (処方内容含む)				
	41 <input type="checkbox"/> 身体医療						
	42 <input type="checkbox"/> 保健・福祉・介護						
	43 <input type="checkbox"/> 地域・職場・家庭等での対応						
対応	44 <input type="checkbox"/> 処方						
	45 <input type="checkbox"/> 入院・入所						
	46 <input type="checkbox"/> 地域の保健医療機関へ紹介・調整						
	47 <input type="checkbox"/> 傾聴・助言等						
転帰	48 <input type="checkbox"/> 支援継続						
	49 <input type="checkbox"/> 支援終了						
災害と精神的健康状態の関連 (医師による判断)	50 <input type="checkbox"/> 直接的関連						
	51 <input type="checkbox"/> 間接的関連						
	52 <input type="checkbox"/> 関連なし						
			精神科的緊急性 <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし				
所属チーム名			相談者への対応者名				
			医師		看護師(保健師含む)		業務調整員
メディカルID			M / F				

本人の訴えが無くても、相談対応者から見てあてはまる項目があればチェックする。

主診断のみチェックする。

今回の対応者と同じ組織による支援が終了する場合、あるいは、他の支援組織の支援が継続される場合は「支援終了」にチェックする。

対応した医師が判断しチェックする。

基本的には、災害による新規疾病発症等を「直接的関連」、既存の疾病の増悪等を「間接的関連」としてチェックする。



報告元	所属・職種・氏名	
	報告対象診療日	
	今回報告の主たる診療地点 (救護所・避難所名等)	
	携帯電話番号 (報告者への連絡方法)	
	電子メール	

災害名	
-----	--

相談対応延人数		合計
年齢	0歳	
	1～14歳	
	15～64歳	
	65歳～	
性別	1 男	
	2 女	
属性	3 支援者	
対応した場所	4 避難所	
	5 病院・救護所	
	6 自宅	
	7 その他	
精神的 健康 状態	本人の 訴え	8 眠れない
		9 不安だ
		10 災害場面が目につく
		11 ゆううつだ
		12 体の調子が悪い
		13 死にたくなる
		14 周りから被害を受けている
		15 物忘れがある
	16 その他	
	行動上の 問題	17 話がまとまらない
		18 怒っている
		19 興奮している
		20 話しすぎる
		21 応答できない
		22 徘徊している
		23 自傷している
		24 自殺を試みる
		25 暴言・暴力をふるう
		26 酒をやめられない
		27 その他
	ICD 分類	28 F0：認知症、器質性精神障害
		29 F1：物質性精神障害
		30 F2：統合失調症関連障害
		31 F3：気分障害
		32 F4：神経症、ストレス関連障害
		33 F5：心身症
		34 F6：人格・行動の障害
		35 F7：知的障害〈精神遅滞〉
		36 F8：心理的発達の障害
		37 F9：児童・青年期の障害
		38 F99：診断不明
		39 G40：てんかん
	必要な支援	40 精神医療
41 身体医療		
42 保健・福祉・介護		
43 地域・職場・家庭等での対応		
対応	44 処方	
	45 入院・入所	
	46 地域の保健医療機関へ紹介・調整	
	47 傾聴・助言等	
転帰	48 支援継続	
	49 支援終了	
災害と精神的 健康状態の関連	50 直接的関連	
	51 間接的関連	
	52 関連なし	

<特記事項>

<隊員の健康状態>

被災者・被災地支援には、チームの皆様も健康である必要があります。
体調を崩している方はいませんか。チーム内に以下に該当する方がいる場合は、
チェックをいってください。

- 1. 食事・休憩がとれていない
- 2. 眠れていない
- 3. イライラしている
- 4. コミュニケーションがとれていない
- 5. 活動に支障がある

<隊員の健康に関する報告>

精神科病院入院患者搬送用紙（一覧表）

【PC用記載例】

シート番号		被災病院名															
基本情報				搬送手続の確保に必要な情報				搬送先の確保に必要な情報				搬送にあたっての注意点等		搬送先・車両決定後に記載		転院先決定後に記載	
No	氏名 <small>しょうじ</small>	年齢	性別	START 法	救護 区分	診断名	傷病名	入院形態	行動 制限	医療処置	記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する	搬送先 搬送先 (受入病院・避難場所等)	搬送車両	転院先	搬送先 決定後に記載	転院先 決定後に記載
1	東海林 れな <small>さかき よしえ</small>	35	女	緑	担送	統合失調症		措置	隔離・拘束	なし	記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する	D病院	自衛隊車両	D病院	D病院	D病院
2	榊 芳恵 <small>ひかる</small>	47	女	緑	護送	気分[感情]障害		医療保護	隔離	なし	記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する	D病院	DPAT車両	D病院	D病院	D病院
3	中島 光	65	男	黄	護送	統合失調症		医療保護	なし	なし	記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する	D病院	警察車両	D病院	D病院	D病院
4	浜田 浩二 <small>こうじ</small>	85	男	黄	護送	認知症		医療保護	なし	吸引 人工栄養(胃瘻・IVH等)	記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する	D病院	民間救急車	D病院	D病院	D病院
5	長瀧 慶太 <small>ながたき けいた</small>	35	男	赤	担送	統合失調症	骨盤骨折疑い	任意	なし	なし	記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する	E病院	DMAT車両	E病院	E病院	E病院
6	山口 いずみ	44	女	緑	独歩	統合失調症		任意	なし	なし	記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する	D病院	大型観光バス	D病院	D病院	F病院
											記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する					
											記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する					
											記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する					
											記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する					
											記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する					
											記載漏れを防ぐため 「なし」も記載する	可能な限り車両情報も 記載する					

一次の避難場所に集約する場合は、転院先が決定してから記載する

可能な限り車両情報も記載する

記載漏れを防ぐため「なし」も記載する

リストから選択
リストにない場合は手入力する

患者の読み仮名がわかりにくい人は記載する

※不足分は行をコピーして使用してください。

精神科病院入院患者一覧表 【手書き用】

シート番号		被災病院名		搬送先・車両決定後に記載										転院先
搬送手段の確保に必要な情報		搬送先の確保に必要な情報										搬送先	転院先	
No	氏名	年齢	性別	START 法	救護区分	診断名	傷病名	入院形態	行動制限 (該当項目に○)	医療処置	搬送にあたっての 注意点等	搬送先 (※入病棟・運搬場所等)	搬送車両	転院先
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											
			男	赤黄緑黒	担送護送独歩				隔離・拘束 なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工栄養(胃導・IVH等)				
			女											

※不足分は本シートをコピーして使用してください。

精神科病院入院患者一覧表 【手書き用記載例】

シート番号		被災病院名		搬送手続の確保に必要な情報										搬送先・車両決定後に記載		転院先
No	氏名	性別	年齢	START法	救護区分	診断名	傷病名	入院形態	行動制限 (該当項目に○)	医療処置	搬送にあたっての 注意点等	搬送先 (搬入病院・避難場所等)	搬送車両	転院先		
1	東海林 れな しょうじ	男 (女)	35	赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩	統合失調症		措置(緊措)応急 医保 任意	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)		D病院	自衛隊車両	D病院		
2	榊 芳恵 さかき よしえ	男 (女)	47	赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩	気分[感情]障害		措置(緊措)応急 医保 任意	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)		D病院	DPAT車両	D病院		
3	中島 光 なかしま ひかる	男 (女)	65	赤(黄)緑黒	担送(護送)独歩	統合失調症		措置(緊措)応急 医保(任意)	なし	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)	可能であれば個室で お願いいたします	D病院	警察車両	D病院		
4	浜田 浩二 はまた こうじ	男 (女)	85	赤(黄)緑黒	担送(護送)独歩	認知症		措置(緊措)応急 医保(任意)	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)		D病院	民間救急車	D病院		
5	長瀬 慶太 ながたき けいた	男 (女)	35	赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩	統合失調症	骨盤骨折疑い	措置(緊措)応急 医保(任意)	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)	左側腹部に皮下出血、 腰部膨満、腹腔内出血疑い、シヨック ハイタル	E病院	DMAT車両	E病院		
6	山口 いずみ やまぐち	男 (女)	44	赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩	統合失調症		措置(緊措)応急 医保(任意)	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)		D病院	大型観光バス	F病院		
		男 (女)		赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩			措置(緊措)応急 医保 任意	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)						
		男 (女)		赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩			措置(緊措)応急 医保 任意	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)						
		男 (女)		赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩			措置(緊措)応急 医保 任意	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)						
		男 (女)		赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩			措置(緊措)応急 医保 任意	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)						
		男 (女)		赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩			措置(緊措)応急 医保 任意	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)						
		男 (女)		赤黄(緑)黒	担送(護送)独歩			措置(緊措)応急 医保 任意	隔離・拘束	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器 <input type="checkbox"/> 人工透析 <input type="checkbox"/> 酸素療法 <input type="checkbox"/> 人工気塞(胃導・IVH等)						

一次の避難場所に集約する場合は、転院先が決定してから記載する

可能な限り車両情報も記載する

リストにない場合は2枚目の用紙を使用

リストから選択する

患者の読み仮名がわかるように記載する

※不足分は本シートをコピーして使用してください。

精神科病院入院患者搬送用紙（集計表）

【作成の注意点】

- ・被災病院ごとに精神科病院入院患者搬送用紙を作成する。
- ・集計表にある項目の概数をまず把握し、上位本部へ報告する。
- ・大規模な患者搬送が必要な場合は、病棟ごとに精神科病院入院患者搬送用紙を作成する（搬送先が病棟毎に異なる場合があるため）
- ・被災病院で作成した精神科病院入院患者搬送用紙の原本は被災病院に保管し、搬送先（転院先を含む）にはコピー等を保管する。
- ・搬送完了時点で、搬送先とその患者数を所属本部へ報告する。
- ・搬送先から更に後方搬送する場合は、新たに精神科病院入院患者搬送用紙を作成する。

作成日時： 月 / 日 / 時 分

作成場所：

作成チーム名：

被災病院名：

START法別の患者数		搬送調整別合計			救護区分別の患者数			病床別の患者数			
START法	救命処置以外	救護区分			搬送時医療処置者	病床別					
		独歩	護送	担送		任意・医療保護入院		措置入院等※			
緑	人					精神病床	人	多床室・個室	人	保護室	人
黄	内、救命処置以外					一般病床 療養病床 等	人	多床室・個室	人	保護室	人
	人										
赤	内、要救命処置					要救命処置	人	独歩	護送	担送	人
	人										
←救命処置を要する患者は速やかに搬送を依頼すること											

※措置、緊急措置、刑事訴訟法・医療観察法の鑑定入院

精神科病院入院患者搬送用紙（集計表） 記載例

2018.12.10 時点

【作成の注意点】

- ・被災病院ごとに項目を整理
- ・集計表にある項目は必ず記載
- ・大規模な患者搬送先が病棟毎に異なる場合は、搬送先を記載
- ・被災病院で作成した搬送用紙には二重線を付す
- ・搬送完了時点で搬送先から更に

作成日時: 月 / 日 / 時 分

作成場所:

作成チーム名:

被災病院名:

1病棟50名の患者搬送調整（案）

- ①救命処置等が必要な患者
赤の1名、黄の1名の計2名をDMAT等に搬送依頼
- ②搬送中に医療処置を必要とする患者
2名の車両確保
- ③行動制限・措置入院等の患者
3 + 2 = 5名の救護区分に基づき車両調整
- ④残りの患者
42名 + 一般病床1名の車両調整

優先順位4
その他の患者の搬送調整

優先順位3
行動制限・措置入院等の患者の搬送調整

優先順位2
搬送中に医療処置を必要とする患者の搬送調整

優先順位1
救命処置等が必要な患者の搬送調整

START	S	精神科病棟	精神科病棟以外	救命区分		担送	備考
				独歩	護送		
緑	46	48人	35人	11人	2人	2人	47人 精神科病棟 1人 一般病床 療養病床等
黄	3	2人	2人	2人	2人	2人	42人 任意・医療保護入院 措置入院等*
赤	1	1人	1人	2人	2人	2人	3人 保護室 2人 保護室

※措置、緊急措置、刑事訴訟法・医療観察法の鑑定入院

DPAT 携行品資料

・DPAT標準ロジスティクス関連機材リスト (DPAT事務局 DPAT活動マニュアルVer2.1より)

本リストは1班5名、活動期間1週間を想定しDMAT標準資器材を基に作成しました。

区分	品名	数量	備考
通信機器 & 記録機器	モバイルパソコン	2台	
	パソコン用予備バッテリー	1個	
	パソコン用ACアダプター	1式	
	データカード・ルーター	1個	
	LANケーブル	1本	20m 1本
	USBメモリースティック	1個	1G程度
	モバイルプリンター	1台	プリンタードライバー付き
	プリンター用ケーブル	1組	
	プリンター用ACアダプター	1式	
	プリンター用紙	2000枚	
	プリンターインクカートリッジ	4組	
	小型プロジェクター	1台	
	接続ケーブル	1式	
	デジタルカメラ	1台	
	デジタルカメラ用充電器	1個	
	パソコン接続用ケーブル	1組	
	衛星携帯電話(データ通信対応機種)	1台	BGAN500・ワイドスターⅡ等
	衛星携帯電話用予備バッテリー	1台	
	衛星携帯電話用ACアダプター	1式	
	衛星携帯電話用外部アンテナ	1台	
	衛星携帯電話アンテナ用延長ケーブル	1式	
	衛星携帯電話用パソコン接続ケーブル	1式	LAN 20m
	モジュラーケーブル	1本	20m
	トランシーバー	5台	可能であれば簡易業務用無線
	トランシーバー用充電器	5個	
	拡声器	1台	
テーブルタップ	1個	5口(アース付)以上	
電源プラグ変換器(3P-2P変換)	2個		
携行用バッテリー(医療機器用)	1台		

区分	品名	数量	備考
通信機器 & 記録機器	車載用 AC コンセント(インバーター)	1 個	300w~500w
	連絡先一覧	1 冊	随時追加記載
	ノート(筆記用具)	5 冊	
	ライティングシート	1 箱	ポリオレフィン製(白・透明)
	ホワイトボードマーカー	10 本	黒・赤・青
	被災地域地図(広域:都道府県地図)	1 冊	
	被災地域地図(詳細:市町村地図)	1 冊	
生活用品・雑品	電波時計	1 個	
	携帯ラジオ(可能であればワンセグ TV)	1 台	
	車載カーナビ(可能であれば TV 対応)	1 台	
	ゴミ袋	30 枚	40ℓ
	ガムテープ	2 個	
	トラテープ	2 個	
	ロープ(10m 程度)	1 本	6mm 程度
	ティッシュペーパー	10 個	
	ウエットティッシュ	10 個	
	荷造り紐	3 個	
	毛布	5 枚	
	寝袋	5 個	冬季・寒冷地
	ポリタンク(折りたたみビニール製)	3~10 個	10ℓ
	簡易トイレ	1 個	
	懐中電灯	2 個	
	道路地図	1 冊	
	被災地近隣地図	1 冊	
	ブルーシート	1 枚	3.6m×3.6m 重さ3kg 以上
	万能ナイフ	1 個	
	ビニールカップ	5 個	
ごみ箱(針捨て BOX)	1 個	感染性廃棄物用	
ごみ箱	1 個		
非常食	ミネラルウォーター	70ℓ	1 日につき 1 人 2ℓ
	非常食(例:パン缶・惣菜缶等)	60 食	
	お茶・味噌汁・お菓子等	3 箱	

区分	品名	数量	備考
調理器具	カセットコンロ(簡易ストーブ)	1式	
	カセットコンロ用ボンベ	6個	
	やかん	1個	
	簡易食器	1式	
	紙コップ	60個	
	ヒートパック	3個	袋大1袋につき 発熱材 60g×3
	割り箸	100膳	

・DPAT 標準個人装備

区分	品名	数量	備考
服装	DPAT ジャケット(ベスト)	1着	派遣時着用
	帽子	1着	派遣時着用
	手袋	1組	
	安全靴	1足	派遣時着用
	災害服(上下)	1着	派遣時着用
	ヘルメット	1個	
	ヘッドランプ	1個	
	ヘッドランプ用乾電池	6組	
	ゴーグル	1個	
	ウエストバック	1個	
	防塵マスク	1個	
	レインコート・ポンチョ・カッパ	1着	雨具
	防寒着	1着	冬季
個人装備	DPAT 登録証	1枚	
	自動車運転免許証	1枚	免許所有者
	腕時計(秒針付き)	1個	
	携帯電話	1台	
	携帯電話充電器	1個	
	着替え	1式	1週間分
	タオル	1式	
	洗面道具	1式	
	常備薬	1式	必要に応じて
	現金(小銭を含む)	1式	班として必要額
	名刺	60枚	

区分	品名	個数	備考
ウエストバック内装備	聴診器	1 個	ウエストバックにて携行
	ペンライト(乾電池)	1 個	
	サージカルマスク	15 枚	
	固定用テープ(2.5cm)	1 個	
	包帯	1 個	
	三角巾	1 枚	
	サインペン・ボールペン	3 個	
	はさみ	1 個	
	ガーゼ	3 個	
	メモ帳(防水タイプ)	1 個	
	プラスチック手袋	15 枚	

・本部活動に必要な資器材

区分	品名	数量	備考
本部設備・備品	机(長机)	4~6 台	
	イス	10~12 脚	
	ホワイトボード	2~3 台	
	ホワイトボードマーカー	10 本	黒・赤・青
	ライティングシート	1 箱	白・透明
	テーブルタップ	5 本	5 口(アース付)以上
	電源プラグ変換器(3P-2P 変換)	2 個	
	地図(広域:都道府県地図)	1 冊	A1 サイズ程度
	地図(詳細:市町村地図)	1 冊	A1 サイズ程度
	道路地図	1 冊	
	被災地近隣地図	1 冊	
本部通信機器 & 記録機器	モバイルパソコン	5 台	
	パソコン用予備バッテリー	3 個	
	パソコン用 AC アダプター	1 式	
	データカード・Wi-Fi ルーター	1 個	
	LAN ケーブル	5 本	
	USB メモリースティック	1 本	
	コピー機	1 台	
	プリンター	1 台	
モバイルプリンター	1 台		

区分	品名	個数	備考
本部 通信機器 & 記録機器	プリンター用ケーブル	1組	
	プリンター用 AC アダプター	1式	
	プリンター用紙	必要数	
	プリンターインクカートリッジ	4組	
	FAX	1台	
	固定電話	4台	受信用2台、発信用2台
	携帯電話	4台	受信用2台、発信用2台
	携帯電話充電器	4台	
	災害時優先電話		
	衛星携帯電話(データ通信対応機種)	2台	BGAN500・ワイドスターII等
	衛星携帯電話用予備バッテリー	2個	
	衛星携帯電話用 AC アダプター	1式	
	衛星携帯電話用外部アンテナ	2台	
	衛星携帯電話アンテナ用延長ケーブル	2本	
	衛星携帯電話用パソコン接続ケーブル	2本	LAN 20m
	モジュラーケーブル	2本	20m(50m)
	トランシーバー	5台	可能であれば簡易業務用無
	トランシーバー用充電器	5個	
	拡声器	1台	
	デジタルカメラ	1個	
	デジタルカメラ用充電器	1個	
	パソコン接続用ケーブル	1本	
小型プロジェクター	1台		
接続ケーブル	1本		
雑品	電波時計	1個	
	携帯ラジオ(可能であればワンセグTV)	1台	
	ノート、メモ帳、筆記用具	必要数	
	マグネット(ホワイトボード用)	10個	
	ポストイット、付箋	10セット	
	ガムテープ	2個	
	トラテープ	2個	
	はさみ	1本	
	ロープ(10m程度)	1本	6mm程度
	ゴミ袋	30枚	40ℓ
	ごみ箱	1箱	

・精神科薬リスト

分類	一般名	商品名 (例示:採用医薬品で選択)	錠数又は 包数
抗不安薬	アルプラゾラム錠 0.4mg	ソラナックス	100
	クロチアゼパム錠 5mg	リーゼ	100
	ジアゼパム錠 5mg	ホリゾン	100
	ロラゼパム錠 0.5mg	ワイパックス	100
睡眠薬	エスゾピクロン錠 1mg	ルネスタ	100
	スボレキサント錠 15mg	ベルソムラ	100
	ニトラゼパム錠 5mg	ベンザリン	100
	ブロチゾラム口腔内崩壊錠 0.25mg	レンドルミン	100
抗てんかん薬 ※気分安定薬も含む	カルバマゼピン錠 100mg	テグレート	100
	クロナゼパム錠 0.5mg	リボトリール	100
	バルプロ酸Na徐放錠 100mg	デパケンR	100
	フェニトイン錠 100mg	アレビアチン	100
	フェノバルビタール錠 30mg	フェノバル	100
	レベチラセタム錠 500mg	イーケプラ	100
気分安定薬	炭酸リチウム錠 100mg	リーマス	100
抗パーキンソン薬	ビペリデン塩酸塩錠 1mg	アキネトン	100
抗精神病薬	アリピプラゾール錠 1mg	エビリファイ	100
	アリピプラゾール錠 6mg	エビリファイ	100
	オランザピン口腔内崩壊錠 5mg	ジプレキサ	70
	クエチアピン錠 25mg	セロクエル	100
	クロルプロマジン塩酸塩錠 25mg	コントミン	100
	ハロペリドール錠 1.5mg	セレネース	100
	リスペリドン経口液 0.1%1mL	リスパダール	50
	リスペリドン口腔内崩壊錠 1mg	リスパダール	100
抗うつ薬	エスタロプラム硝酸塩錠 10mg	レクサプロ	100
	トラゾドン塩酸塩錠 25mg	レスリン	100
	パロキセチン口腔内崩壊錠 10mg	パキシル	100
	ミルタザピン錠 15mg	リフレックス	100
	ミルナシプラン塩酸塩錠 15mg	トレドミン	100
その他	グアンファシン塩酸塩徐放錠 1mg	インチュニブ	140
	抑肝散又は抑肝散陳皮半夏		42

・身体科薬リスト（内服薬）

分類	一般名	商品名 (例示:採用医薬品で選択)	錠数又は 包数
解熱鎮痛消炎剤	アセトアミノフェン錠 200mg	カロナール	100
	ロキソプロフェンNa錠 60mg	ロキソニン	100
総合感冒剤	プロメタジン 1.35%等配合非ピリン系感冒剤 または プロメタジン 6.75mg等配合非ピリン系感冒剤	PL配合顆粒 または ピーエイ配合錠	100
鎮痙剤	ブチルスコポラミン臭化物錠 10mg	ブスコパン	100
血管拡張剤	アムロジピン口腔内崩壊錠 2.5mg	アムロジン	100
	硝酸イソソルビド錠 5mg	ニトロール	100
止しゃ剤、整腸剤	ビフィズス菌製剤	ビオフィェルミン錠	126
消化性潰瘍用剤	ランソプラゾール口腔内崩壊錠 15mg	タケプロン	100
	レバミピド口腔内崩壊錠 100mg	ムコスタ	100
制酸剤	酸化マグネシウム錠 330mg	マグミット	100
下剤、浣腸剤	センノシド錠 12mg	プルゼニド	100
消化器機能異常治療剤	メトクロプラミド錠 5mg	プリンペラン	100
混合ビタミン剤 (ビタミンA・D混合製剤を除く)	ベンフォチアミン 25mg (B1)・B6・B12 配合カプセル	ビタメジン配合カプセル	100
アレルギー性疾患治療剤	フェキソフェナジン塩酸塩口腔内崩壊錠 60mg	アレグラ	100

※季節を考慮して携行

抗インフルエンザウイルス剤	院内採用薬からインフルエンザ治療薬を携行
---------------	----------------------

・身体科薬リスト（外用薬）

分類	一般名	商品名 (例示:採用医薬品で選択)	本
局所麻酔剤	リドカイン塩酸塩ゼリー2%	キシロカインゼリー	10
解熱鎮痛消炎剤	アセトアミノフェン坐薬 100mg	アンヒバ	50
眼科用剤	ケトチフェン点眼薬 0.05%5mL	ザジテン点眼薬	10
	ヒアルロン酸 Na 点眼薬 0.1%5mL	ヒアレイン点眼薬	10
口内炎・歯周炎治療剤	クロルヘキシジン塩酸塩・ ジフェンヒドラミン配合剤軟膏	デスパコーワ口腔用 クリーム	10
気管支拡張剤	ツロブテロールテープ 1mg	ホクナリンテープ	70
	プロカテロール塩酸塩(吸入剤)	メプチンスイングヘラー	5
化膿性疾患用剤	ゲンタマイシン硫酸塩軟膏 0.1%	ゲンタシン軟膏	10
鎮痒剤	クロタミトククリーム	オイラックスクリーム	10

分類	一般名	商品名 (例示:採用医薬品で選択)	本
外用副腎皮質ホルモン剤	ヒドロコルチゾン酪酸エステル軟膏	ロコイド軟膏	10
鎮痛消炎剤	インドメタシンクリーム 1%	インテバンクリーム	10
	ロキソプロフェン Na テープ 50mg (7×10 cm非温感)	ロキソニンテープ	10 袋 (7 枚/袋)
血行促進・皮膚保湿剤	ヘパリン類似物質クリーム 0.3%	ヒルドイドクリーム	10
軟膏基剤	白色ワセリン	プロペト 100g	3
小児用抗てんかん薬	ジアゼパム坐薬 10mg	ダイアアップ坐薬	50

・蘇生・処置等薬剤リスト

分類	一般名	商品名 (例示:採用医薬品で選択)	数量
血液代用剤	細胞外液補充液(リンゲル液 500mL)	ラクテック注 500mL	5
	生理食塩水 100mL	生理食塩水 100mL	10
	生理食塩水 20mL	生理食塩水 20mL	10
類似剤	50%ブドウ糖液 20mL	50%ブドウ糖液 20mL	5
溶解剤	注射用蒸留水 20mL(ジプレキサ筋注時用)	注射用蒸留水 20mL	3
蘇生薬剤一式	アドレナリン注射液 0.1%シリンジ 1mL	アドレナリン注 0.1% シリンジ 1mL	5
	アトロピン硫酸塩注射液 0.05% シリンジ 1mL	アトロピン注 0.05% シリンジ 1mL	3
	ドパミン塩酸塩注射液 600mg	塩酸ドパミン注キット 600	1
	リドカイン注射液 2%シリンジ 5mL	リドカイン注射液 2% シリンジ 5mL	3

・精神科注射薬リスト

分類	一般名	商品名 (例示:採用医薬品で選択)	アンプル数
抗てんかん薬	ジアゼパム注射液 10mg	セルシン注射液 10mg	10
	レベチラセタム注射液 5mg	イーケプラ点滴静注 500mg	6
抗パーキンソン薬	乳酸ビペリデン注射液 5mg	アキネトン注射液 5mg	10
抗精神病薬	オランザピン速効性筋注製剤 10mg	ジプレキサ筋注用 10mg	3
	ハロペリドール注射液 5mg	セレネース注 5mg	10
呼吸促進薬	フルマゼニル注射液 0.5mg	アネキセート注射液 0.5mg	5

・ D P A T 標準医療機器・関連機材リスト

医療機器・機材	数量
体外式自動除細動器(AED)	1
移動用モニター(付属品含む) (※1)	1
モニター用充電コード	1
モニター用予備バッテリー	1
酸素ポンプ	1
減圧弁・流量計付	1
簡易点滴台	1
毛布	適宜
ターポリン担架	1
SpO2 モニター	1
血圧計	2
モニター用電池	適宜
心電図モニター用電極(シール)	3 セット
体温計	1

※1 モニター・AEDについては、長時間バッテリー駆動が可能なものが望ましい

・ 医療資機材リスト

気道管理セット	数量
挿管チューブ 6/7/8	各 2
気管チューブホルダー(バインドブロックでも可)	2
カフ用シリンジ 10cc	2
咽頭鏡	1
ブレード 2/4	各 2
スタイレット	2
固定用テープ	適宜
咽頭鏡用電池	適宜
吸引カテーテル 10, 12, 14	各 2
経鼻エアウェイ 6, 7, 8	各 2
バックバルブマスク	2
吸引器	1

静脈路確保セット	数量
静脈瘤置針 20/22/24G	各 3
駆血帯	3
アルコール綿	1 箱
三方活栓付延長チューブ	3
固定用透明フィルム	6
固定用絆創膏	6
点滴回路(成人/小児)	各 3

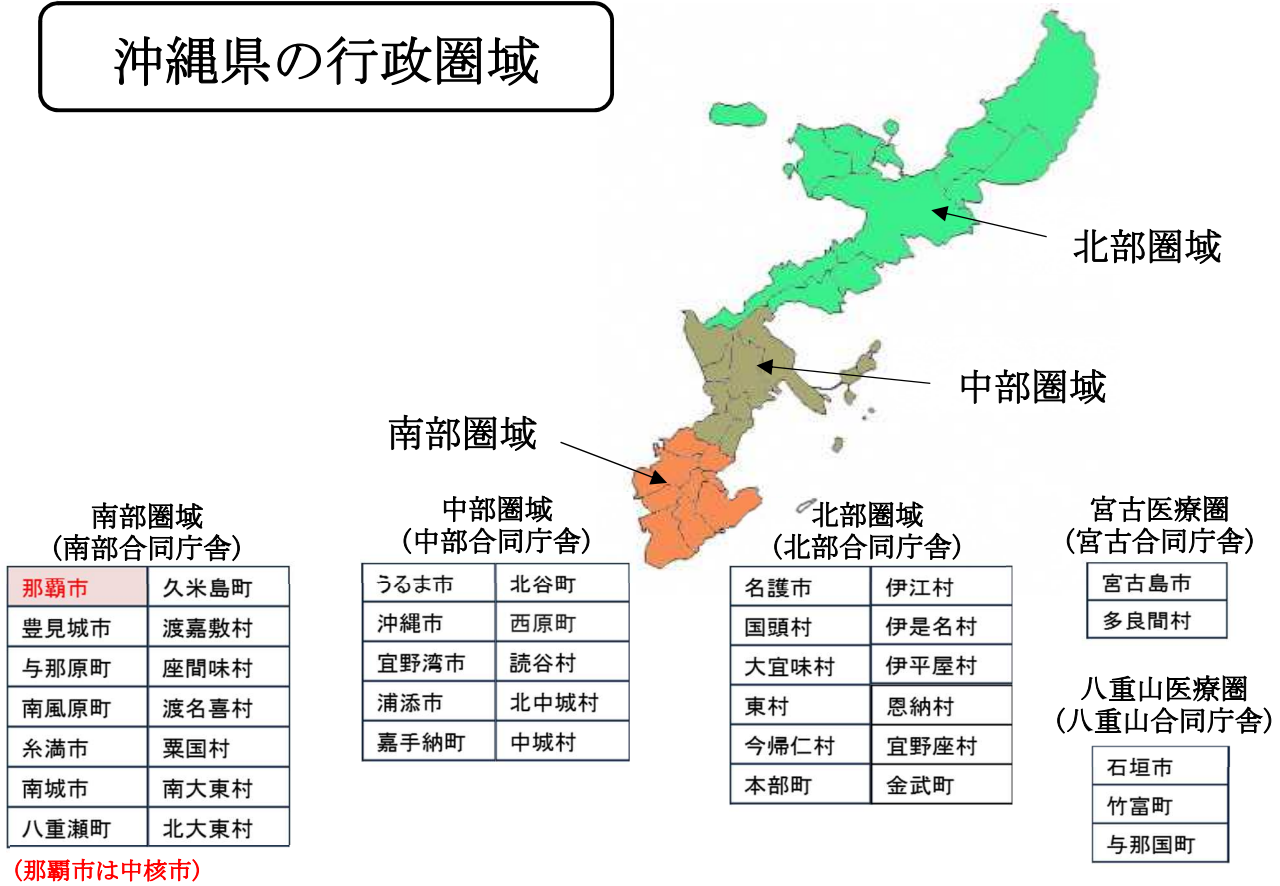
その他の診療備品	数量
リザーバー付マスク	3
酸素延長チューブ	3
酸素延長チューブコネクター	3
酸素カヌラ	3
手袋(雑)	適宜
聴診器	2
ペンライト	1
はさみ	1
注射用シリンジ 1mL	5
注射用シリンジ 5mL	5
注射用シリンジ 20mL	2
18G 注射針	30
23G 注射針	10
スワブスティック(ポピドンヨード)	10
スワブスティック(ヘキシジン)	10
アルコール綿	1箱
ノンアルコール綿	適宜
下敷き	5
4つ折ガーゼ(滅菌)	5
8つ折ガーゼ(滅菌)	5
速乾性手指消毒剤	1
三角巾	3
弾性包帯 4号	5
平オムツ	2
ゴミ袋	1袋
血糖測定器	1
血糖測定用チップ	10本
穿刺針	10本
トリアージタグ	20
薬袋	100
災害診療記録	50
医療搬送カルテ	50
精神科病院入院患者搬送一覧表	10

(季節を考慮して携行)

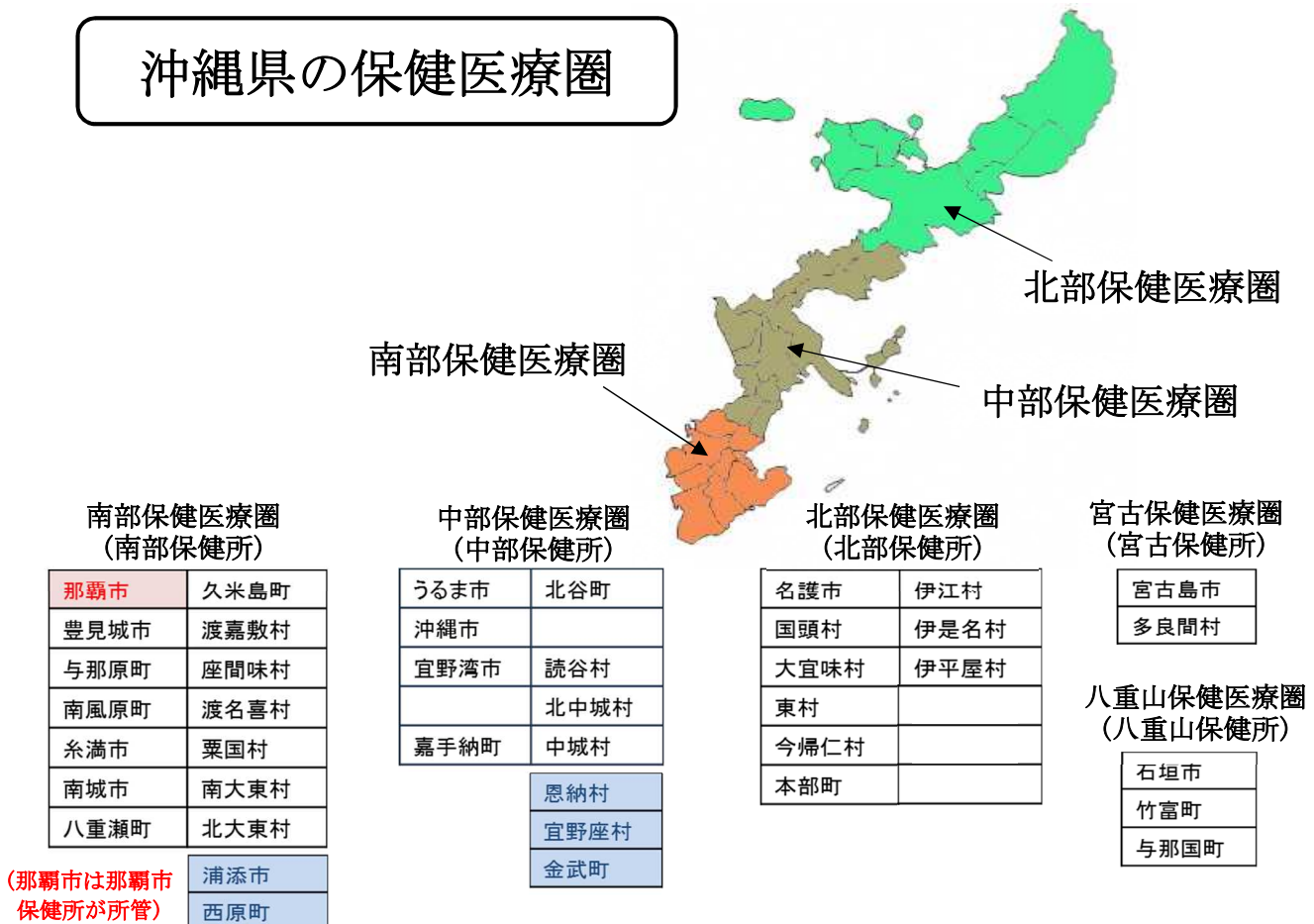
インフルエンザ検査キット	20
--------------	----

沖縄県の行政圏域及び保健医療圏

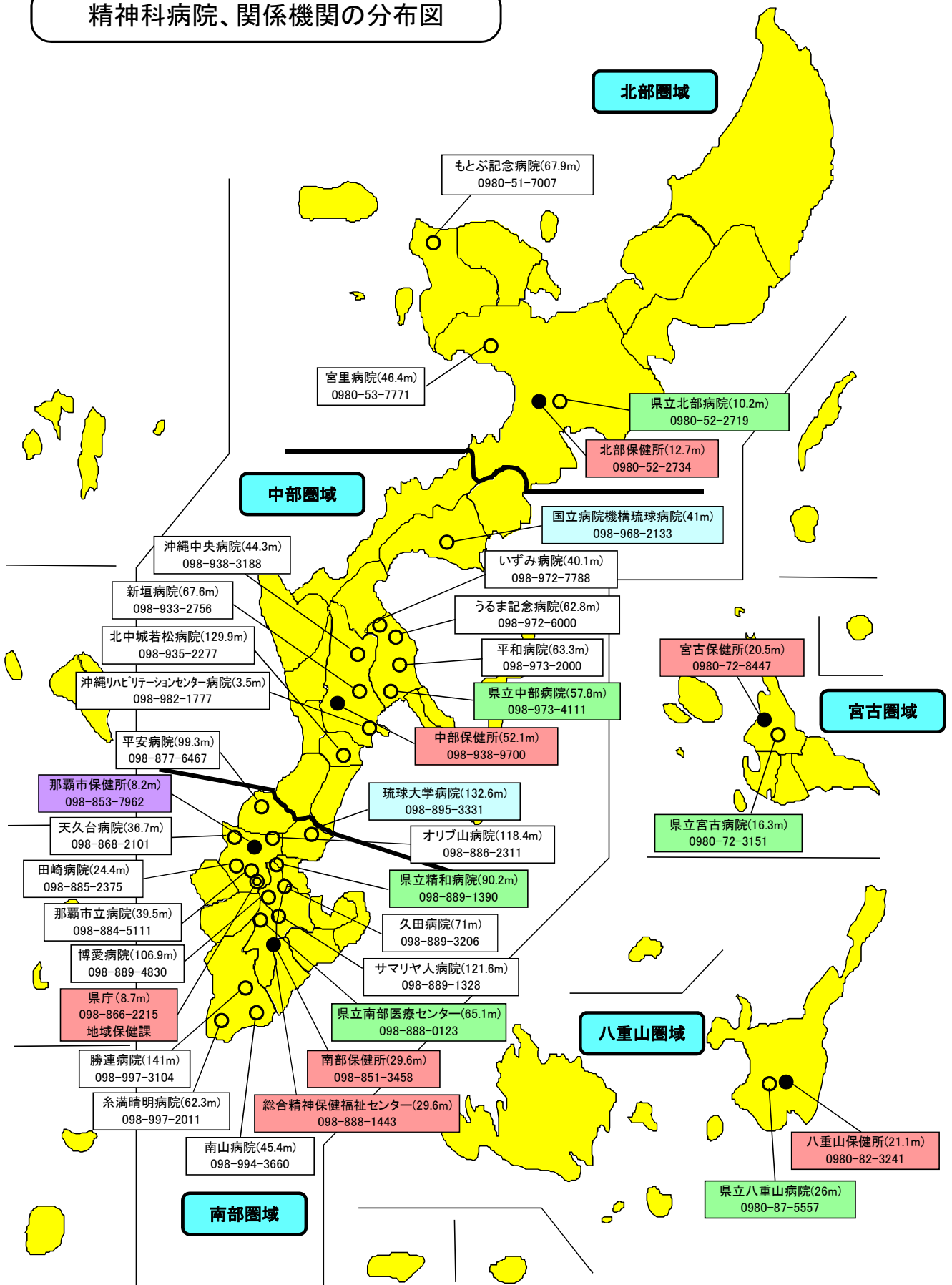
沖縄県の行政圏域



沖縄県の保健医療圏



精神科病院、関係機関の分布図



(標高は国土地理院地図・いつもNAVIラボより)

DPAT関係機関一覧

機関名	所在地	電話番号	FAX番号	備考
知事公室 防災危機管理課	〒900-8570 那覇市泉崎1-2-2	098-866-2143	098-866-3204	
保健医療部 地域保健課	〃	098-866-2215	098-866-2241	
総合精神保健福祉 センター	〒901-1104 南風原町字宮平212-3	098-888-1443	098-888-1710	

◇医療機関

機関名	所在地	電話番号	FAX番号	備考
独)国立病院機構 琉球病院	〒904-1001 金武町字金武7958-1	098-968-2133	098-968-2679	
県立精和病院	〒901-1105 南風原町字新川260	098-889-1390	098-889-8385	
県立南部医療センター・ こども医療センター	〒901-1193 南風原町字新川118-1	098-888-0123	098-888-3500	
平安病院	〒901-2553 浦添市字経塚346	098-877-6467	098-877-7320	

◇関係団体

機関名	所在地	電話番号	FAX番号	備考
沖縄県 精神科病院協会	〒902-2222 うるま市上江洲665	098-973-0220	098-973-0220	

◇保健所

機関名	所在地	電話番号	FAX番号	管轄市町村
北部保健所 地域保健班	〒905-0017 名護市字大中 2-13-1	0980-52-2734	0980-52-7544	国頭村 大宜味村 東 村 今帰仁村 本部町 名護市 伊江村 伊平屋村 伊是名村
中部保健所 精神保健班	〒904-1104 沖縄市美原1-6-28	098-938-9700	098-938-9779	恩納村 宜野座村 金武町 うるま市 沖縄市 読谷村 嘉手納町 北谷町 北中城村 中城村 宜野湾市
南部保健所 精神保健班	〒901-1104 南風原町字宮平212	098-851-3458	098-888-1348	浦添市 久米島町 渡嘉敷村 座間味村 粟国村 渡名喜村 南大東村 北大東村 西原町 南風原町 豊見城村 糸満市 南城市 八重瀬町 与那原町
宮古保健所 地域保健班	〒90-0007 宮古島市平良東仲宗根476	0980-72-8447	0980-72-8446	宮古島市 多良間村
八重山保健所 地域保健班	〒907-0002 石垣市真栄里438	0980-82-3241	0980-83-0474	石垣市 竹富町 与那国町
那覇市保健所 地域保健課	〒902-0076 那覇市与儀1-3-21	098-853-7962	098-853-7965	那覇市

精神科病院（令和元年6月30日現在）

地区別	病院名	設置主体	住所	電話番号	精神科病床	海拔高度(m)
北 部	1 もとぶ記念病院	医療法人	本部町字石川972	0980-51-7007	170	67.9
	2 宮里病院	医療法人	名護市宇宇茂佐1763-2	0980-53-7771	167	46.4
中 部	3 北中城若松病院	医療法人	北中城村字大城311	098-935-2277	108	129.9
	4 沖縄リハビリテーションセンター病院	医療法人	沖縄市比屋根2-15-1	098-982-1777	211 (R3.2.1現在)	3.5
	5 新垣病院	医療法人	沖縄市安慶田4-10-3	098-933-2756	273	67.6
	6 平和病院	医療法人	うるま市宇上江洲665	098-973-2000	212	63.3
	7 うるま記念病院	医療法人	うるま市宇昆布1832-397	098-972-6000	270	62.8
	8 沖縄中央病院	医療法人	沖縄市知花5-26-1	098-938-3188	239	44.3
	9 いずみ病院	医療法人	うるま市栄野比1150	098-972-7788	220	40.1
	10 琉球病院	独立行政法人 国立病院機構	金武町字金武7958-1	098-968-2133	326	41
南 部	11 勝連病院	医療法人	糸満市宇真栄平1026	098-997-3104	520	141
	12 琉球大学病院	国立大学法人	西原町宇上原207	098-895-3331	40	132.6
	13 サマリヤ人病院	医療法人	南風原町宇新川460	098-889-1328	346	121.6
	14 オリーブ山病院	社会医療法人	那覇市首里石嶺町4-356	098-886-2311	232	118.4
	15 博愛病院	医療法人	南風原町新川485-1	098-889-4830	149	106.9
	16 平安病院	医療法人	浦添市宇経塚346	098-877-6467	309	99.3
	17 精和病院	県	南風原町宇新川260	098-889-1390	250	90.2
	18 久田病院	医療法人	南風原町宇大名275	098-889-3206	214	71
	19 南部医療センター・こども医療センター	県	南風原町宇新川118-1	098-888-0123	5	65.1
	20 糸満清明病院	医療法人	糸満市宇大度520	098-997-2011	297	62.3
	21 南山病院	医療法人	糸満市宇賀数406-1	098-994-3660	215	45.4
22 天久台病院	医療法人	那覇市宇天久1123	098-868-2101	333	36.7	
23 田崎病院	医療法人	那覇市松川319	098-885-2375	170	24.4	
宮古	24 宮古病院	県	宮古島市平良宇下里427-1	0980-72-3151	49	16.3
八重山	25 八重山病院	県	石垣市宇真栄里584-1	0980-87-5557	38	26

(標高は国土地理院地図・いつもNAVIラボより)

※No.4 沖縄リハビリテーションセンター病院(R3年2月1日より)

精神科クリニック・精神科外来等

地区		施設名	住所	電話番号	海拔高度 (m)
北 部	1	メンタルクリニックやんばる	名護市宇茂佐の森1-2-9	0980-52-4556	8.6
	2	クリニック和睦	名護市大東1-15-6	0980-54-5522	2
中 部	3	やすらぎクリニック	中城村字南上原750	098-895-2580	129.1
	4	さよウイメンズ メンタルクリニック	宜野湾市志真志4-24-7 沖縄ぎのわんセミナーハウス4F	098-870-9855	105.1
	5	県立中部病院(外来)	うるま市字宮里281	098-973-4111	57.8
	6	いずみクリニック	うるま市高江洲978-1	098-979-0562	57.3
	7	兼城医院	沖縄市美原2-26-13	098-929-3000	56.6
	8	たまき心療内科クリニック	うるま市赤道260-6	098-989-3566	55.8
	9	ファミリーメンタルクリニック	沖縄市知花6-40-3	098-939-5561	53.7
	10	名城眞治クリニック	北中城村瑞慶覧646	098-931-0088	45
	11	なおまさクリニック	沖縄市上地2-12-18	098-989-9229	107.5
	12	高原こころクリニック	沖縄市高原6-4-9	098-989-4002	2.8
	13	ぎのわんメンタルクリニック	宜野湾市大謝名1-17-31	098-890-7733	21.4
	14	うるまこころのクリニック	うるま市喜屋武546-1 ゆらていくジョイハウスビル1F	098-923-3333	65.5
	15	とくだ心療内科	うるま市江洲547-2	098-963-8756	51.5
	16	南上原こころの発達クリニック	中城村字南上原750 South Hill.F 1階 105	098-917-6380	130.8
南 部	17	鳥堀養生クリニック	那覇市首里当蔵町3-21-2	098-886-3212	109.9
	18	エステルクリニック	那覇市首里石嶺町1-151-5 ネクスコート濱元1F	098-979-5905	99.4
	19	城間クリニック	浦添市前田564-1	098-878-8213	115.6
	20	ウイメンズ・メンタル クリニックみなみ	南風原町新川507-1	098-889-3739	92.9
	21	かもめクリニック	浦添市字経塚633 メディカルKプラザ3F	098-988-0326	89.2
	22	パークレーいむろ 心のクリニック	浦添市当山2-2-11 パークレーメディカルモール3F	098-877-7700	80
	23	福の木診療所	那覇市首里儀保町2-39 2F	098-885-1029	74
	24	ひさつねクリニック	那覇市真嘉比3-2-18 グランデュール古島駅前 1F	098-882-2188	36.7
	25	山本クリニック	浦添市伊祖2-30-7 OAZOビル1F	098-879-3303	33.1
	26	那覇市立病院	那覇市古島2-31-1	098-884-5111	39.5
	27	公立久米島病院(外来)	久米島町字嘉手苅572-3	098-985-5555	29.6
	28	クリニックおもろまち	那覇市おもろまち4-6-20 2F	098-868-2105	28.1
	29	南斗クリニック	浦添市城間3-3-7	098-988-3208	22.8
	30	総合精神保健福祉センター	南風原町字宮平212-3	098-888-1443	29.6

(標高は国土地理院地図・いつもNAVIラボより)

精神科クリニック・精神科外来等

地区	施設名	住所	電話番号	海拔高度(m)	
南 部	31	心のクリニックさくら	南風原町字与那覇283 2F	098-851-7888	22.2
	32	ゆめクリニック	那覇市赤嶺2-3-1 101	098-891-8600	20.8
	33	城間医院	西原町翁長240-7	098-945-4551	17
	34	なかまクリニック	豊見城市字豊見城372-1	098-891-6424	18
	35	イルカこころのクリニック	那覇市寄宮154-7	098-835-1413	15.6
	36	松城クリニック	那覇市松川442	098-836-3553	35.1
	37	南城つはこクリニック	南城市佐数字津波古433	098-947-3722	6.3
	38	かなでクリニック	那覇市久茂地2-6-20 第一久高木材ビル2F	098-866-6633	2.1
	39	長田クリニック	那覇市国場334-1	098-833-7878	3.5
	40	沖縄医療生協協同組合 沖縄協同病院(外来)	那覇市古波蔵4-10-55	098-853-1200	3.4
	41	ふくろうクリニック	那覇市牧志2-16-12	098-867-1443	4.9
	42	みえばしクリニック	那覇市久茂地3-8-15 1F	098-863-7788	2.9
	43	菜の花クリニック	那覇市泉崎1-16-16 1F	098-866-8716	2.9
	44	こころクリニック	那覇市泊1-13-16	098-866-0556	3.7
	45	ひまわりクリニック	那覇市泉崎2-8-18	098-855-7575	9.5
	46	天久のクリニック	那覇市天久1-27-20 2F	098-861-4615	24.6
	47	クリニック エスプリ	那覇市長田1-6-1	098-894-6412	19.3
	48	みなみそら医院	那覇市上間336-7	098-833-1133	10.6
	49	大田クリニック	浦添市経塚745-7	098-871-1234	101.4
	50	あかりクリニック	那覇市字銘苅303 メディカルヒルズめかるビル2F	098-988-8864	11.8
	51	ひかりクリニック	那覇市松山2-1-12 合人社那覇松山ビル5F	098-865-3333	2.4
	52	まかび心のクリニック	那覇市真嘉比1-7-1 テンズまかび4F	098-884-7800	27.6
	53	輔仁クリニック	那覇市松川301 4F	098-885-6605	14.1
	54	心のクリニック語り学び	那覇市首里儀保町1-24-3F	098-885-2200	76.7
	55	つかさクリニック 高良診療所	那覇市高良3-6-5	098-857-8060	17.5
	56	首里ハートクリニック	那覇市首里石嶺町4-238-2 メディカルいしみね2F	098-885-5530	103.1
	57	あなはクリニック	那覇市牧志2-23-9 SHINKA牧志ビル3F	098-988-1425	1.9
	58	心のクリニック光	浦添市宮城5-6-2	098-879-0808	21.4
	59	まえだクリニック	浦添市前田1-48-8	098-917-5542	108.1
	60	太田小児科医院	西原町小橋川164-1	098-946-5081	6.7
	61	発達神経クリニック プロップ	南風原町字新川215-3	098-987-1233	69.9
宮古	62	こころのクリニック ていんぬぼう	宮古島市平良下里1245-9	0980-74-3900	33.9
八重山	63	やしの木クリニック	石垣市字大川579-5	0980-88-1184	14.7

(標高は国土地理院地図・いつもNAVIラボより)

災害派遣精神医療チーム体制整備事業 運営委員会委員 (令和2年度)

近藤 毅	(琉球大学病院)
平安 明	(沖縄県精神科病院協会・平安病院)
平安 良次	(沖縄県公認心理師協会・平安病院)
西銘 隆	(沖縄県精神保健福祉士協会・田崎病院)
喜納 徳男	(日本精神科看護協会沖縄県支部・糸満晴明病院)
大鶴 卓	(国立病院機構 琉球病院)
山川 宗一郎	(沖縄県立精和病院)
川田 聡	(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)
知花 浩也	(D P A T事務局関係者・琉球病院)
山川 宗貞	(沖縄県保健所長会)
国吉 悦子	(沖縄県保健医療部 地域保健課)
宮川 治	(沖縄県立総合精神保健福祉センター)

「沖縄県D P A T活動マニュアル」令和3年3月改訂版 作成委員

氏 名	職種	所 属	
知花 浩也	精神保健福祉士	D P A T事務局関係者 琉球病院	
滝 友秀	公認心理士	平安病院	
浦崎 将成	看護師	平安病院	
大城 桜	救急事務	南部医療センター・こども医療 センター	
嘉手苺 知史	事務	地域保健課	担当課
新城 明美	保健師	総合精神保健福祉センター	事務局
川満 瑤実	保健師	総合精神保健福祉センター	事務局
伊禮 嘉宣	保健師	総合精神保健福祉センター	事務局
與那城 加代子	保健師	総合精神保健福祉センター	事務局

参考・引用文献

- 1) 災害派遣精神医療チーム(DPAT)活動要領 (厚生労働省 平成30年3月31日改正)
- 2) DPAT活動マニュアル Ver.2.1 (厚生労働省委託 DPAT事務局)
- 3) 沖縄県災害派遣精神医療チーム設置要綱 (令和2年4月1日改正)
- 4) 沖縄県DPAT調整会議設置要綱 (令和2年6月22日改正)
- 5) 沖縄県災害医療マニュアル (令和2年3月31日改正)
- 6) 大阪DPATガイドライン (令和元年7月改訂)
- 7) 沖縄県における精神保健福祉の現状 (平成31年)